

2009 栄光への軌跡

～捲土重来、僕達は決して逃げない～

大分国体で 5 連覇を達成した千葉チームから受け継いだバトンは更に重さを増し、ズッシリと櫃原チームの肩に乗かっていった。グランドスラム(完全勝利)を思わずやっちゃった後のチームとしては、周りの期待も高まりプレッシャーもすごい事になっているはずだ。さてさて、森川先生はこのチームをどう率いて行くのだろうか？そして、誰がどこで大化けしてくれるのかも楽しみである。今のところキャプテン櫃原とエース光亦ぐらいしか顔が分からない。

まずは、選抜までの行動を追ってみよう。

高等学校選抜中国ブロック大会

平成 20 年 11 月 2 日(日) 鳥取県湖山池にて

春の選抜ボート大会出場をめぐってのレース。天気も良く絶好の紅葉狩り日和だが、先生も部員にもそんな優雅な生活は無い。ひたすらボート一色の日々を過ごしている。大分国体終了で引退した 3 年生もお手伝いや応援に大勢駆けつけてくれていた。1 年生も応援に駆けつけ保護者と一緒に大きな声を出していた。千葉元保護者会長を筆頭に 20 年度保護者もビックリするほど大勢来場。OB では依田・小西夫妻、1 年からは岸本母が集まった。2 年保護者はお揃いのブルーのジャンパーを着てゴールと応援席でビデオ撮影を行っている。

森川先生は、2 日前から子供達にマジックをかけ続けていた。オーラ・意気込みが今一つ盛り上がらない。このままでは・・・ということらしい。国体後からの疲れによる体調不良に加えて風邪まで引いてしまい、これがまたしつこく治らずバリウムまで飲んでいった。・・・胃も悪いつてことか！！そんな中、根性と気力で持ちこたえている様だった。

10 時 10 分 男子シングルスカル

- 1 着 広島県 銀河学院 ・ ・ ・ ・ 4 '07 "49
- 2 着 鳥取県 米子工業 ・ ・ ・ ・ 4 '09 "56
- 3 着 島根県 松江北 ・ ・ ・ ・ 4 '11 "48
- 4 着 岡山県 関西(澤) ・ ・ ・ ・ 4 '12 "32
- 5 着 山口県 水産高校 ・ ・ ・ ・ 4 '17 "21

前半出遅れ、その後立て直したかに見えたが 850M 腹きりしてしまい艇が止まってしまった。最後は惰性でゴールと精神面の弱さを露にした。しかし、彼は有望株と目されている。今後の期待される。

10時30分 男子ダブルスカル

- 1着 岡山県 関西(樫原・前田)・・・3'35"72
- 2着 鳥取県 鳥取東・・・・3'39"35
- 3着 山口県 周防大島・・・・3'41"89
- 4着 島根県 松江高専・・・・3'43"36
- 5着 広島県 宮島工業・・・・3'46"59

予定より30分遅れ11時頃スタート。前半出遅れ『まさか・・・』と思っ
てしまったが、後半エンジンがかかり加速しトップに踊り出て3秒63差を
つけてゴール。試合前から樫原父がダブルに不安を持っていた様だが、一
先ず安心した。

10時50分 男子クォドルプル

- 1着 岡山県 関西(C.岡本・光亦・角南・村田・市川)
・・・・3'20"01
- 2着 山口県 西市高校・・・・3'24"52
- 3着 島根県 松江北・・・・3'26"80
- 4着 広島県 宮島工業・・・・3'28"17
- 5着 鳥取県 米子東・・・・3'33"78

30分遅れでスタート。出だしから快調に飛び出し、そのままゴールした
が、森川先生曰く「こんなタイムでは・・・」コンディションや全国を見
据えれば、まだまだこれではと言う事のような。

今年のレースは全て終了した。アジア出場もない今年は、選抜に向け体力づくりにひた
すらいそしむしかない。厳しい冬練の始まりが近い。

祝賀会

平成20年11月29日(土) ロイヤルホテルにて

国体5連覇と高校4冠グランドスラムのお祝いに173人の人が集まって祝杯をあげた。
森川先生は5次会までOBや日大会等と飲み納めをし、翌日、胆嚢ポリープの除去手術に
臨む。風邪が、胃が・・・とんでもない！手術するほどのものを抱えていたのだ。

U-19 日本代表強化合宿

平成20年12月17～21日 天竜にて

光亦が参加。最終日6位で終わる。武田選手とダブルを組み2本漕ぐという貴重な体験
をした。病み上がり自宅安静と言われた森川先生も引率に付いて行っていた。小浜の長田
君・阿賀黎明の坂上君の名前を記憶しておこう。

三社参り

平成 21 年 1 月 19 日(月)

神道山～吉備津神社～吉備津彦神社の三社を巡る、約 10 キロのマラソンです。毎年明
け直ぐに行われるイベントですが、今年はちょっと遅れてしまいました。でも、全員参加
で走りました。伴走は鬼火弾号Ⅱ号、4月上旬の暖かさを記録したとはいえバイクは厳し
かったようです。

ランクアップ合宿

平成 21 年 1 月 29 日(木)～2 月 1 日(日)

異例の 3 年生をも引きつれ(あまりにも目に余るエルゴの結果のため参加)松山にて。2 年
光亦は第 2 次強化合宿で明治艇庫のエンパ(ドイツ製の艇)を大破した後、合流する。樫原父
が子供達の運搬を担う。年末・年始からのたるんだ筋力を買いに行ったのだ。明日月曜日
の休みと火曜日の 3 年追い出し USJ ツアーを楽しみに狂ったように仕上げをした。

USJ ツアー(3 年追い出しプチ旅行)

平成 21 年 2 月 3 日(火)

朝 7 時に関西高校を出発。前日に修学旅行扱いにすると、でえーれえーお得という情報
が入り、先生は慌てて何枚もの書類と格闘し校長印を貰って出発した。おかげでスキーツ
アーよりも格安で楽しめた。参加父兄も多く、バスは 3 席の空席を残すのみとなった。

先生は 1 年保護者の 1 グループと共にアトラクションを楽しんだ。平日と言う事も有っ
て 20～30 分待ちで次々と巡って行ったが、まるでアトラクション全部制覇を目標にでもし
ているかの様な先生の勢いに

「そろそろお昼にしませんかあ～？お腹空きましたあ～」

と声があがった。しかし、ゆっくりオムライス・・・とは行かずハンバーガーでさっさと
空腹を満たして、それ次やれ次と午後からの小雨で待ち時間が無くなったのを良いことに
根限り乗り倒した。

最初は森川先生と・・・！！と、緊張と戸惑いに固まっていた保護者達も一緒に行動す
るうちに、先生のお茶目な一面を発見し馴染んでいった。

折角の格安フリーパスにも関わらず、高い飲食店で食ってばかりの子供達がいたとい
う。もったいない！！ま、毎年いるよね！去年まででも故障や怪我防止で大人しくしてた
子は居るけど理由も無くスキーをせずに神社に行ったり、雪合戦で済ます子が。

この日は節分。恵方巻を 4 本も食べて「食べすぎかなあ～？」と言ったどっかのオヤジ
がいたが、「どんだけ願い事があるんや！！」「食べすぎかなあ～？あ？どう考えても誰が
見ても食べ過ぎや！！」とこっそり突っ込みを保護者同士で言い合った。

初乗艇

平成 21 年 2 月 7 日(土)

今年初めての乗艇練習が百間川で午前中行われた。全員参加すれば明日は OFF と宣言されていたが 2 年生 1 名が欠席。早朝まだ寝ていた先生を叩き起こす。

「目覚ましかと思って切ってしまうた。2 回目かけてきたんで出たら休むじゃ言うんです。折角の OFF があ！僕だけ OFF にしよっと。カキオコ食べに行こうかなあ。」

と言われていたが全員 OFF になった。

1~3 年が入り乱れて乗艇していた。天気も良く、ひばりが春の訪れを感じさせてくれていた。ダブル艇が途中、川原に上がった。故障・・・ベニヤ板を買い明日修理となった。安井(3 年)岸本(1 年)はその後直ぐ川に戻ったが、漕いでいるのはずっと岸本だけだった。安井はオモリ代わり？

光亦母がコーヒー乳乳(こう言っていた)を持参してくれていた。あったかくて美味しかった。牛乳の割合が多いのにしっかりコーヒーの良い香りもする。ポカポカ陽気でも川べりは未だ寒い。

8 日、暖かな春の日差しを感じさせる中、自主練する子もいた。先生もカキオコはやめて川へ来ていた。お昼はいつもの『名玄』で。

禊

平成 21 年 2 月 11 日(水)建国記念の日

12 時から安仁神社にて、午前中晴れていたのに午後より曇りだし、2 時頃にはパラパラと雨が降り出し風も出てきた。入水時には雨は上がった。気温は例年より暖かく天気予報によると 12℃は有ったようだ。角南・光亦の父も入水。海は冷たく、胸・肩まで浸かって願い事をわめく様にひたすら叫び続けた。みんなの願いが神様に届きますように！

お引越し

平成 21 年 2 月 17 日(火)

百間川より旭川へ艇輸送。3 年生と先生が 4 往復で午前中に行った。3 年はお休み中なので急遽先生の声がけに参加可能の子供達が集まった。先生は授業があったはずなのだが・・・あまり詮索はしないでおこう。

ただ、帰って来ても風が強かったり雨が多かったりとなかなか乗艇が出来ない。選抜まで 1 ヶ月お天道様とにらめっこの日が続く。

卒業式・追い出し会

平成 21 年 3 月 1 日(日)

プラザホテルにて千葉チームの追い出し会が行われた。例年、卒業生のカラオケと決まっているが、今年は先生と卒業生父によるカラオケが一番盛り上がった。

「お父さん方、今日は正装でおいで下さってますよね？どうぞ壇上へ上がってください。」の呼びかけと共に、背広を脱ぎ始めた。ズボンを脱ぎ始めると、周りの女性陣は何事かとざわめいた。現れたのは、全員ローイングスーツ姿。2曲を踊って走りながら披露した。投稿された写真には1人だけ関西ではなく国体のロースーを着、股間に花を付けた先生の姿が・・・これは笑うというよりあっけにとられたと言う方が正解かも・・・。生徒は卒業生と2年から櫃原キャプテンのみのため他の部員は見ることは出来なかったが掲示板に投稿された卒業生母達の感想を見ると大うけだったようだ。きっと追出し会に参加した父母から話は聞いたに違いない。無残にもパンパンに伸びたロースーで走り回るメタボのおっさん集団はとてもコミカルであっただろう。掲示板に掲載された写真を見て、思いのほか先生がスマートに見えたのは私だけえ～？藤原父は食事中「ロースー着とったら何も食べんがぁ！」と上半身は降ろしていたと聞いた。石田父は奥さんにも内緒なのでこっそり息子の引き出しを開けて探している現場を抑えられ「ロースー着るの！？」の問いに慌ててしまい、ごまかす事も出来ないまま「何で知っとん！？」と答えてしまってバレたと言う。高木父はうまい事バレずに入手したが新品を着てしまった。先生の国体ロースーは高木母子を騙して入手していた・・・さすが！！知能犯！卒業生の感想は「有り得んし！！」の一言に尽きたようだ。

子供達のカラオケも矢島美容室のごとく3人で『日本のミカタ～ネバダからきました～』を熱唱したグループもあった。盛り上がる歌ではあったのでうけていたのだが、サビで大顰蹙をうけた。だって、歌詞がまずかった。「ミ～カ～タッ！！」を連呼してしまった。どっかの県の高校名ズバリ！それもほとんどライバル校。応援歌みたいになってしまった。今回はお世話になった第二顧問の家庭科の木村先生も出席されていた。森川先生は残念ながら恒例の二次会カラオケは欠席となった。

卒業後も部活には顔を出していた3年生は1人減り2人減り、3月7日の百間川での大林さんのコーチングには誰も居なくなっていた。

と、前振りはこちらまで。ここからいよいよ今シーズンのスタートとなる。

高校選抜大会の巻

平成 21 年 3 月 20 日(金)～22 日(日)

3 月 7 日のブログに「やっと光明が見えてきた。」と「スタートラインに立った感じ。」とのコメントが載った。

クォドルプル・・・C.岡本陽平 S.光亦裕登 3.角南淳 2.澤雄樹 B.市川智洋

ダブルスカル・・・S.村田潤二 B.樫原敬佑

補漕・・・・・・・・・・(2年)前田秀隆 箕浦良文 鶴見健太

(1年)浅野 井上

選抜に先駆けて百間川にて合宿を行った。桑野旅館に泊まりこみ 1 日 7 合のご飯を詰め込みながら仕上げにかかる。

今年の対抗メンバーに渡されたのは黄緑色にオレンジ色で敢為の文字が書かれた鉢巻。うどん屋での食事でも電車に乗るのもこの鉢巻を締めて気持ちを奮い立たせていた。

3 月 18 日(水)、朝 9 時、関西高校から静岡天竜川へ向けて出発。お留守番の 1 年生と現役父兄の他に、草地さん(19H)・善木・藤原・安井・林田さん(20H)が見送りに集まっていた。父兄の声援と差し入れを受け、再び優勝カップを貰いに鬼火弾号に乗って旅立った。掲示板には OB や OB 保護者からの熱いメッセージが投稿されていた。午後 4 時過ぎに光明寺に到着。

3 月 19 日(木)、5 時半起床。6 時より勝負必勝・水上安全・心願成就の祈祷を受ける。

3 月 20 日(金)、今年も天竜川は広々とした川幅に水を讃え、子供たちを迎えてくれた。山間のひっそりと息を殺しているかのような朝の冷気の中、滑走路のように真っ直ぐ伸びたコースにブイのオレンジが転々と連なっている。駐車場からピストン輸送で運ばれてくる選手と観戦者が時間を追うごとに川岸の道路を埋めていき、ガードレールに沿ってノボリが徐々に増えていった。

《予選》

ダブルスカル 12 時 06 分 2 組 レース NO. 8

1. 福井 小浜水産・・・・・・・・・・1 着 6 '51 "23
2. 福島 会津・・・・・・・・・・3 着 6 '59 "37
3. 岡山 関西・・・・・・・・・・2 着 6 '58 "01
4. 京都 海洋・・・・・・・・・・5 着 7 '10 "16
5. 茨城 潮来・・・・・・・・・・4 着 7 '04 "19
6. 熊本 熊本学園大学附属・・6 着 7 '18 "53

3 上がりなので予選クリアだが、1 着とのタイム差が気になった。

クォドルプル 12 時 34 分 1 組 レース NO. 11

1. 京都 東舞鶴 4 着 6 '50 "80
2. 岡山 関西 1 着 6 '35 "08
3. 福井 美方 2 着 6 '47 "26
4. 岩手 山田 6 着 7 '10 "26
5. 埼玉 慶應義塾志木 3 着 6 '47 "40
6. 福岡 東筑 5 着 6 '56 "31

ブッチキリ 1 ば〜〜ん！でゴール！！ 予選をトップタイムで通過！ライバルにこれだけの差をつけてくれるとは、とお〜っても嬉しい！

16 時より浜北プラザホテルにて山口良治先生の講演を聴く。ご存知森川先生が尊敬する人物のお一人で『スクールウォーズ』のモデルとなった方である。お話はきくと聴く人を感動させるものであったはずだ。ラグビー経験者として講演後の感想を森川先生が熱く語ったと『月刊ローイング』に出ていた。

この日、OB 保護者も応援に駆けつけていた。予選からとは頭が下がります。20H より藤原・安井・善木さんでした。

子供達に光亦父よりの差し入れがあった。今までは OB からの差し入れが多かったのが今回は父親から . . . 教科書が . . . 何故？と思われた方もいたはず。実は朝、父兄がコンビニに寄ると子供達が数名出てきた。残りの部員が未だ本のコーナーの前でじっとしている。光亦父の姿を認めると、本と父を交互にチラッチラッと見比べ始めた。

「どの本が欲しいの？」

と声を掛けると

「これと . . . これと . . . 。」

男同士のなせる業だ。その後、試合会場へ向かうシャトルバスにも偶然父兄と合流となったが、母達の目を気にしてかゴソゴソとカバンの中に隠したという。「嬉しいのは分かるけど試合前に . . . 朝から . . . 。」と母達は思った。

3 月 21 日(土)、敗復が無かったので昨日の午後はゆっくり休めただろうか？

《準決勝》

クォドルプル 14 時 04 分 1 組 レース NO. 47

2. 京都 東舞鶴 3 着 7 '33 "04
3. 山口 西市 2 着 7 '26 "90
4. 岡山 関西 1 着 7 '14 "77
5. 宮崎 石巻工業 4 着 7 '39 "61

1着で勝ったには勝ったのだが、先生は大変ご不満であった。この日のブログによると「勝ったからいい様なものの、ダイナミックさが感じられない。攻めていない。守りになっていた。」と、厳しいコメントを発表されていた。

ダブルスカル 15時36分 4組 レース NO. 56

2. 富山 大沢野工業・・・・・・4着 7'39"16
3. 岡山 関西・・・・・・1着 7'26"94
4. 福井 敦賀工業・・・・・・2着 7'31"22
5. 滋賀 瀬田工業・・・・・・3着 7'36"74

この試合は感動を呼び起こした。荒々しく攻めていったレースだった。

樫原母は体調不良で岡山出発が遅れ予選を観られなかったので今日から観戦に加わった。腹痛は納まっていたが今一つだった体調も息子の勝利を目の当たりにして完全復活をとげる。息子は「神(先生)の声が聞こえ魔法に掛かった様にトップでゴールできた、去年の高木・林田先輩の落とし前をつけてきた。」と喜びを伝えてた。去年の決勝戦で敦賀工業が優勝、大沢野工業が2位になり、関西が3位になったのは記憶に新しい。

夜10時、岸本母から電話が入った。1年保護者も駆けつけているようだ。補漕で参加した浅野家は夫婦で来ていたし、中には息子は留守番にも関わらず応援に来てくれていた保護者もいたと言う。前夜祭の最中、周りは盛り上がり賑わっている。会話中女性の叫び声が聞こえ、笑い声が高くなる。つくづく行けなかったのが悔しい。私は光亦母の言う「後ちょっと足を延ばす」事が出来なかった。その代わりに上賀茂神社・貴船神社・鞍馬寺と必勝祈願のはしごをした。でも京都から後ちょっとで静岡に行けるだろうか？

宴会の場所は宿泊先の朝食用の部屋。今年は浜北ホテルに部屋が取れなかったが、朝食の時間帯以外は自由に活用OK・持込OKとの事で、酒やつまみにお菓子などを買いに出かけ、机を寄せ集めて騒ぎ出した。森川先生からも電話が掛かってきて、参加したような素振りではあったが光明寺からも出たくはなくて、しっかり心の中で葛藤したと想像できる。

3月22日(日)、朝から生憎の雨だったが全天候型の関西には関係ないと光亦母がユーモアをばらまく。小浜水産にどれだけからめるか！？美方・若狭にどれだけ強さを見せつけてやれるか！！OB・OB保護者の応援と部員のお礼文がひっきりなしに掲示板を埋め尽くしていた。また、お留守番の後輩達も次々とメッセージを送ってくれている。OB保護者も応援人数が増えた。19H 草地さん、20H 千葉・高橋さんである。

《決勝》

ダブルスカル 10時42分 A決勝 レース NO. 72

2. 茨城 潮来・・・・・・4着 7'37"42

- 3. 福井 小浜水産・・・・・・・・・・1着 7'23"23
- 6. 大分 日田・・・・・・・・・・2着 7'28"98
- 7. 岡山 関西・・・・・・・・・・3着 7'33"71



3位でも「おめでとう!」「良くやった!」「信じられない!!」と感想が届いていた。私も「3位だけど、やっぱりおめでとう!で良んですよね!?!」と先生に言うと・・・「ん～～」二人で大笑いしてごまかし合った。ん～～はどっちだったのだろうか気になる。⇒3位に入るとは誰も思っていなかった。十分満足な結果だ。

舵手付きクォドルプル 11時34分 A決勝 レース NO. 78

- 2. 千葉 小見川・・・・・・・・・・2着 7'19"37
- 3. 福井 美方・・・・・・・・・・4着 7'26"76
- 4. 岡山 関西・・・・・・・・・・1着 7'13"85
- 5. 福井 若狭・・・・・・・・・・3着 7'26"23



スタート少し出遅れたが 200M から次々と追い抜き、圧倒的なスピートでゴール!! 応援団はとっても安心して応援できたと後に語った。

今年も天竜に桜吹雪が舞った。180B 若山父風に言う「花おこし」。表彰式は雨の為、体育館で行われた。黄色の T シャツを着て記念撮影に臨んだ。貰ったメダルを其々の母にかけてあげ、先生は日本一の親孝行と絶賛した。先生の胴上げで光亦が先生のジャージを脱がそうとしたって..本当? 掲示板は炎上状態でお祝いメッセージが次々と UP された。20H 高橋父が吟じます。

「なんだか今年も行けそうな気がするううう～～」

「2年連続グランド○○○・・・・・・・・あると思います!」

帰りの鬼火弾号では先生からの差し入れ、1つ 2100 円の特上鰻を頬張りながらの凱旋であった。一方、応援団のバスから保護者の爆睡写真が投稿され笑いがこぼれた。先生にも直接連絡を取って「おめでとうございます」と伝えたが、返って来たのは「よくあることです。」と、あっさり。よっぽど嬉しかったのだろう、嬉しさの裏返しかな!?

翌日、山陽新聞に『関西 男子舵付き 4人スカル 無敵 V2』の見出しでデカデカと掲載された。『6大会連続制覇「攻めて」圧勝』とも書いてあった。朝日新聞をとっている先生は朝も早からコンビニダッシュしたと言う。

大会期間中、保護者は感想投稿の他にも息子の投稿文にコメントを書き込み、応援・お祝いメッセージにも交代のようにお礼のコメントをこまめに書き込んでいた。中々賑やか

で楽しいサイトになっていくのが嬉しく、開くのが楽しみである。

翌々日には森川先生が国立病院で検査が入っていた。2、3日入院するのかと思いきや1日で終了。良好であったという事で「めでたしめでたし」。

選抜の様子を船の上から目線で紹介されていたので、引っ張ってみました。
高田しょう子さん(無線による場内アナウンスをした方)のブログより

今日は、朝からあいにくの冷たい雨

男女6種目、2000mで争われます。

スタートライン。

ウォーターマンと呼ばれる補助員がボートをつかんでました。

船から身をのりだして、トップのラインをそろえるんです。

これには、驚いたな〜🤖

スターターの赤旗で一気にトップスピードへ🚩

後ろから見ると、すごい勢いでボートが水面を切り裂いて進んでいきます。

震えるような寒さの中で自分と戦い、そして、ライバルとも戦う。

わずか6〜8分。1年間の思いをぶつけ、全力のローイング。

見てると感動でウルウルきます💎

私は、カタマランに乗って選手を追いかけます🚩

そして、無線機を使って場内アナウンス🎤

6本の決勝レースを担当しました。

例えばこんな感じ。

「男子シングルスカルA決勝。500mライン、トップで通過したのは、1レーン ○○高校、○○選手。それを追うのは・・・」

「2番手 2レーン○○選手 🚩 3番手とは1艇身差。あ！今、水があきました〜。」

このような試みは高校生の大会では、初らしいです。

「マイナー競技ということもあって、まず考えられない」とのこと。


でも、2000m全部は見渡せないんです。

レース展開をもっと楽しんでもらいたい  そんな思いから企画されたそうです。


テストケースということで、すごく緊張しました～。


用意していたデータや言葉がほとんど言えなかった。

付け焼刃だもんなあ。

抜き差しが激しくなるとカミカミで 

同乗してくださった先生や協会の方には、多大なサポートをしていただきました。

指導をされているだけあって、調べても出てこないような情報が盛りだくさんでした 

今大会最速クルー  男子舵手つきクオドルプルで優勝した、岡山・関西高校。

圧倒的なレースでした。おめでとうございます。

また、大林コーチのコメントは「今年のクルーは過去最速だろう。体重当りの出力は最大級だ。」とインタビューで語ってくれていた。

《小さな試合と催し》

松江レガッタ

4月4・5日(土日)、大橋川漕艇場にて。

レースは5日だけの小さな大会であるがOB保護者になると前夜祭の夜桜の会が行われている。去年は入学式・お花見レガッタ観戦で欠席したが『来年は来んとハミですからね!』と言われ1年越しの約束を果たしに行った。

1次会はおでん屋の『庄助』二階座敷の窓の外にはほぼ満開の桜が見事に咲き誇っていた。出席者は18H平松父・19H森本夫妻・20H高橋父との5人ではちょっと寂しいので急遽現役にも声を掛け、光亦母・澤母が参加。森川先生と鬼火弾号に生徒が乗り切れないため引率してくれた光亦父を加え9名で盛り上がった。話はOB保護者やOBの近況がメインでお互いボケと突っ込み合いであった。先生のバックには大分国体で貰った竜神様の栗が入っていた。それも1個ではない。神仏を本当に大事にされていると感心した。

2次会は森本父が明日早くから仕事だからと岡山に戻っていき、仕事のため遅れてきた岸本夫妻と交代した。会場は『ケネデー』・・・『ケネディー』では無いのでご注意を！入り口はとっても入りにくそうな様子。フラッと入る感じの店では無い。むしろ不気味にさえ思わずにいられない。ドアを開けると陽気な親父さんのスナックでまたまた盛り上がり12時にお開きとなるまで飲んだ。歳の話では何と！！高橋父が一番年上だと発覚。皆で一斉に驚き、ジョージに半分ブルーインクの嵐！！岸本母によると高橋父の存在は操南小学校の運動会から知られていたそうで、リーゼントと派手なシャツが有名だったらしい。光亦母の妹さんがヤクザと勘違いしていたとか？男性の中では一番年上なのに一番若く見えるなんて羨ましい。そして、保護者会初の新キャラクターの存在を知る。今までに無い人材と全員が納得。選抜大会の前夜祭で現役保護者は既に知っていたがOB保護者と森川先生には強烈な印象を与えた。光亦父・・・応援団や生徒の前での姿とは別に夜の顔があった。『○ネタ大王』・・・○ッ○○星人であった。皆にイエローカード・レッドカードを出され、退場を9回も宣言された。勿論妻からも……。後で妻からしっかり怒られる父であったの言うまでもない。また、つられて高橋父も何回かに1回突っ込むように上乘せをコソッと吹き笑いをとった。男って……

この夜、恐怖の流血事件が起きた。5日朝、目が覚めると先生の枕が血まみれになっていた。鼻血ではありません！スナックで自分の頬を搔いた時に日焼けで薄くなっていたのか出血を見た。アルコールで血の巡りが良かったのでなかなか止まらず、一旦止まったかに見えたが寝ている間に再び出血し始めていたのだ。血の海となった枕を呆然と眺める寝起きの先生を想像してみよう。

5日、7時半に応援団は到着し準備を始めた。新2年保護者もポロポロと試合に間に合うように姿を現した。岸本夫妻の他、浅野父・松島父・正宗夫妻と会場が比較的近いからだろう。おかげで少しづつだが名前と顔が覚えられそうに思った。子供達は試合の前後に挨

クォード予選ではBは3着、Aは2番手から江津工業Aを追い上げ抜いたかに見えたが、コンマ33の差で2着であった。やっぱり白熱するレースが心配ではあるが面白い。

NRM(第53回日立明三大学レガッタ)

4月19日(日)戸田漕艇場にて行われた。17日金曜日に子供達だけで戸田に到着し、池袋をジャージ姿で散策した後、シェーキーズでピザを頬張っていた。先生はこの日まで担当クラスの1年生と研修旅行で小豆島に行っていた。学校に着くとその足で空港に向かいビールをゴイゴイ飲みながら19時30分のヒコーキに飛び乗った。23時過ぎに池袋のお寿司屋で空腹をやっと満たしホッとする。子供達は国立艇庫に先生は東横インに宿泊する。

選抜メンバーにとって毎年の事だが、一人or二人を除いて初めての経験をする。飛行機と大学ボートのメッカ戸田と名前が覚えきれぬか不安な程のOBに驚きと感動の連続であったろう。

18日土曜日、眠たい目をこすりながら起床する先生と元気な子供達は日大の先輩方に艇を借り、準備も手伝ってもらった。シングル・ダブルはエンパだと言う。前例があるだけに無事お返しできる事を先生も岡山に居る保護者も祈ったであろう。昼食はこれまた日大の先輩にご馳走になった。夜、OBからの差し入れが国立艇庫の子供達に続々と届くのが嬉しくもありプレッシャーにも感じただろうか？先生は他の高校の先生、大学の監督・コーチと飲んだらしいが疲れがMAXで9時頃にはホテルで死んだように寝てしまった。

*『エンパ』・・・ドイツ製の艇。イタリア製の『フィリッピ』と並び艇庫に置かれているのを見かけるが、価格はトップ。エイト艇だと400万円もする。近年、他社の性能UPと高価格によりエンパ離れも見られるとか・・・？

試合結果

シングル 1着 関西(光亦)

ダブル 2着 関西(檀原・村田)

クォドルプル 1着 関西(市川・澤・角南・浅野・岡本)

2着 福井選抜

福井は選抜優勝の小浜水産のダブルメンバーを中心にしたクォード最強チームで挑んできたと聞いた。目当ては光亦の様だったが残念ながらシングル出場でした。へっ!(オードリー春日風に)・・・しかし、このチームはどうやら一緒に漕ぐ事無くやって来て戸田でも殆んど練習する事無く試合に臨んだとか・・・なんじゃそりゃ？

今年は明治大学が大会の運営担当だったので、色々とお世話をしたらしい。市川が掲示板に書いていた。エイトのレースには感動を覚えていた。オールの数と同じでも8人で漕ぐし迫力が違います。先生も日大のエイト(依田・若山・三村・小林)を大絶賛していた。明

治(長谷川・草地・小西)は一体どれくらいの差をつけられての2着だったのだろうか？聞きたくないし、怖くて聞けない。→・・・30秒開いてたそうなの。。

選抜祝賀会

4月29日(水・昭和の日)

14時より『炙』にて行われた。鶴の一声で成田家さんから急遽場所を変更した。本当に申し訳ないと保護者全員感じている。17H小林父さんにお花見・NRMのお祝いを言いたかったのだから、またの機会にしよう。保護者会長の櫃原さんは場所変更による問い合わせで対応に大忙し、駐車スペースも限られ乗り合わせをお願いし、また店の近くを走るバスは平日のみの運行で参加のお断りも出たであろう。実は私も無理ですと一旦欠席表明したのだが、「北長瀬駅まで迎えに行きますから！」と櫃原母のお言葉で参加させていただいた。そこまでしていただくのは・・・そこまでするとは！何故？人づてに聞いたのは・・・「先生が喜んで下さるのなら」と頑張ったそうだ。ほおっ感心

さて、この『炙』というお店はH8卒の先生の教え子がしている陶板焼店。隠れ家の1つでOBは何人か利用しているそうだ。

19Hからは草地夫妻と私、20Hからは千葉夫妻・藤原父・安井夫妻・林田母。おや？出席率の良い高橋父は？グリーンレガッタの応援に戸田へ行っていた。20H林田が参加し現役にお土産を持参していた。

明日より朝日レガッタへ向けて出発するため壮行会も兼ねて宴会は始まった。選抜の優勝カップでまず、先生がビールを喉に注ぎ込んだ。次にOB保護者席で回し飲みし、2年保護者3年保護者へとカップが巡っていった。宴もたけなわの頃子供たちの挨拶が始まった。朝日レガッタに向けての抱負と決意を1人ずつ語っていった。こうして見るとCOXは二人共身長が小柄の漕手に負けないくらい有る。体重制限に苦しんでいるのが納得できた。箕浦は模試を受けるため欠席、父が代わりに子供に混じって挨拶していた。2年生の挨拶は内容もだが顔の良さに目が行った。3・4人可愛い子がいたし(イケメン)、19H組は岸本を入学前から知っているのだから遅しく成っているのが分かる。準決勝進出以上を目指して頑張っ

て欲しい。

16時半にお開き、子供達は明日の出発準備で旭川へチャリの大移動を始める。背中のKANZEIと書かれたピンクの文字が何とも言えない。先生は代行を呼んで帰宅？その前にちょっと学校へ寄って明日からの自習プリントを用意してから帰宅し、そのまま爆睡したという。

朝日レガッタの巻

平成 21 年 4 月 30 日(木)、岡山を出発し琵琶湖へと向かう。土日祝日は ETC で一般車は 1000 円だがマイクロバスは従来どおりの料金を払って高速を進む。平日とは言え GW の真っ最中混み具合は如何なものだっただろうか？前日の壮行会で、先生は OB 保護者にやたらと「2 日に来て下さい」と叫んでいた。飲み足りないのか？ 2 日に飲むのが、都合が良いと考えたのだろう。敗復は無いと自信が有るんだろう。残念な事に皆、準決勝と決勝の 4・5 日を予定している。2 年前 3 往復した岸本母は今年も 2 往復すると言う。高速料金は安くなったが体力と根性は要りますよ。

季節外れのインフルエンザが流行を始めていた。メキシコからのブタインフル。空港では検疫が始まりマスクが売り切れ状態となった。人ごみは避けるようにとテレビのアナウンサーがしきりに注意を呼びかけていたが、まだ日本に上陸が確認されていないので危機管理の乏しい我々は応援に行かないわけが無い。中止にならない以上都合がつけば駆けつけるに決まっている。

5 月 1 日(金)、練習でやってくれた！ B クルーの COX3 年鶴見がクルーと一緒に艇を浮かべる時、艇もろとも水の中に飛び込んだ。まずこんなヤツはいない。風で沈するヤツはいてもいきなり飛び込むとは！周りにいた他校の先生は大爆笑。鶴見と艇とトランシーバーを心配する先生とは裏腹に、無事に陸に上がった鶴見は自分の携帯の心配をしていたという。艇は無事で何より。しかし B クルーの練習は大幅に短縮となった。記憶にある限り珍事が起こると良い事が起きてきたので、きっと彼は頑張ってくれると信じよう。

5 月 2 日(土)深夜、光亦邸より 3 年保護者団が瀬田に向け出発した。樫原母の投稿によると、高速は昼間の様に明るく試合に間に合うかと心配していました。GW と ETC のなせる業であろうか、私は 4 日のいったい何時に出発したものか？と悩む。試合時間が遅めになっている事を願う。

高校男子シングルスカル

予選 1 組 9 : 28

2. 嶺山(神戸科学技術)・・・2 着
3. 前川(高島)・・・・・・・・・・4 着
4. 椎葉(熊本学園)・・・・・・・・3 着
5. 永井(敦賀工業)・・・・・・・・棄権
6. 箕浦(関西)・・・・・・・・・・1 着→準決勝へ

予選 7 組 10 : 16

1. 樫原(関西)・・・・・・・・・・1 着→準決勝へ
2. 下南(美方)・・・・・・・・・・2 着

- 3.安元(岡豊)・・・・・・・・・・4着
- 4.岡野(十津川)・・・・・・・・・・6着
- 5.田村(彦根東)・・・・・・・・・・3着
- 6.亀尾(神戸科学技術)・・・・・・5着

2着と16秒以上の差を付けブッチギリで快勝！良くやったキャプテン！！

予選9組 10:32

- 1.荒木(若狭A)・・・・・・・・・・1着
- 2.前田(関西)・・・・・・・・・・2着→準決勝へ
- 3.江川(膳所)・・・・・・・・・・4着
- 4.浜上(津幡C)・・・・・・・・・・6着
- 5.片桐(朱雀B)・・・・・・・・・・3着
- 6.中村(今治西A)・・・・・・・・・・5着

高校男子ダブルスカル

予選4組 12:05

- 2.関西高校(市川・村田)・・2着→準決勝へ
- 3.今治西高校・・・・・・・・・・4着
- 4.米子東高校・・・・・・・・・・5着
- 5.清風高校・・・・・・・・・・3着
- 6.京都海洋高校・・・・・・・・・・1着

高校男子舵手つきクォドルブル

予選2組 13:29

- 2.清風高校B・・・・・・・・・・2着
- 3.柳学園高校・・・・・・・・・・3着
- 4.関西高校A・・・・・・・・・・1着→準決勝へ
(光亦・澤・角南・2浅野・C岡本)
- 5.小松高校B・・・・・・・・・・5着
- 6.松江東高校・・・・・・・・・・4着

この日のトップタイムで2着の清風Bを20秒以上離して余裕のゴールを決めた。

予選5組 13:50

- 1.高島高校・・・・・・・・・・5着
- 2.伏見工業高校・・・・・・・・・・1着
- 3.清風高校・・・・・・・・・・4着

- 4.相生産業高校・・・・・・・・・・6着
- 5.今治西高校A・・・・・・・・・・2着
- 6.関西高校B・・・・・・・・・・3着 →敗者復活へ

(S 佐藤・2 高田・井上・岸本・C 鶴見)

またまたやってくれました！・・・レース 3 分前に校歌を歌って警告を受けた。校歌は無理して歌わんでも時間に余裕が無かったらパスしていいんだよう。一昨年までの先輩は決勝の時にリラックスと気合を入れるため歌ってたんだから。おまけにテンパってしまいスタート地点になかなか着けず除外寸前でグチャグチャなままスタート。750m から追い上げるも残念。むしろ失格にならずに3着で入れたのが不思議なくらいに思う。頼むよ～～！COX は冷静が一番。落ち着いてくれえええ～～。そして、彼は伝説の男となる。

5月3日(日)準決勝進出を賭けて敗者復活戦が始まる。2年生として意地でも勝たなくては去年より上を目指せない。

高校男子舵手つきクォドルブル

敗者復活4組 13:46

- 1.香住高校・・・・・・・・・・棄権
- 2.松山東高校・・・・・・・・・・1着
- 3.清風高校A・・・・・・・・・・3着
- 4.関西高校B・・・・・・・・・・2着
- 5.高島高校・・・・・・・・・・4着
- 6.相生産業高校・・・・・・・・・・5着

ゴールの瞬間応援団はさぞガックリ来ただろう。1秒59差で2着に甘んじた。1位上がりのためここで敗退となる。・・・筈であったが、が、やっぱり関西には天が味方してくれていた。タイム順で準決勝進出を手にした。「関西はやっぱり何か持ってます。」と先生も保護者も口々に幸運を喜んだ。

5月4日(月・みどりの日)早朝、帰省ラッシュの始まりかけた高速を瀬田西ICに向けひたすら走る。何とかシングルに間に合うように着かなくては！込み合う京都東を抜ければもう直ぐだ。桂川を眺め、何回渡っただろうかとふと感慨に浸った。ナフコの駐車場に停め、750m 付近の関西応援団ブースに到着。レース 10 分前ギリギリだ。2年3年の保護者が集結していた。この日はOB保護者も18H 増成母・太田母、19H 安田母・植田母、20H 廣田母が息子の応援に来ていた。その他にも17H 長谷川父、20H 安井夫妻・善木母・高木母・池田母・石田夫妻・藤原夫妻と賑わいを見せた。

高校男子シングル

準決勝1組 9:44

- 1.岩井(若狭高校 C)・・・5着
- 2.小堀(高島高校)・・・6着
- 3.林(桜宮高校 A)・・・2着 3'38"71
- 4.箕浦(関西高校 C)・・・3着 3'44"26
- 5.前田(関西高校 B)・・・1着 3'38"22
- 6.藤井(八幡商業高校)・・・4着

1上がりで関西対決は前田が制した。

準決勝4組 10:08

- 1.上田(若狭高校 B)・・・5着
- 2.下南(美方高校)・・・6着
- 3.池田(米子工業高校)・・・1着 3'40"81
- 4.片桐(小松高校 A)・・・3着
- 5.樫原(関西高校 A)・・・2着 3'42"58
- 6.越智(今治西高校 B)・・・4着

残念で悔しくて悲しい思いをしたに違いない。エースに成れないキャプテンの苦悩はいかばかりだろうか、頑張れ樫原！！それでも君はキャプテンだ！日本一のキャプテンを目指せ！！

高校男子ダブルスカル

準決勝3組 12:23

- 1.高島高校 B・・・・・・・・・・5着
- 2.敦賀工業高校 B・・・・・・・・・・4着
- 3.熊本学園大附属高校 A・・・2着 3'29"66
- 4.熊本学園大附属高校 B・・・1着 3'27"49
- 5.関西高校・・・・・・・・・・3着 3'30"71
- 6.神戸科学技術高校 A・・・・・・6着

挨拶に来て、村田がずっと泣いていた。言葉が詰まり次の言葉が出てこない。それでも気持ちを伝え引き上げようとした。市川の挨拶を忘れて引き上げようとした。泣き顔をいつまでも見られたくない気持ちがはやる。取り残されそうに成った市川もつられる様に涙をこぼし挨拶を終えた。

高校男子クォドルプル

準決勝1組 14:50

- 1.熊本学園大附属高校 B・・・5着
- 2.清風高校 B・・・・・・・・6着
- 3.伏見工業高校・・・・・・・・2着 3'14"80
- 4.関西高校 A・・・・・・・・1着 3'13"29
- 5.今治西高校 A・・・・・・・・4着
- 6.若狭高校・・・・・・・・3着

決勝進出を決める。

準決勝2組 14:57

- 1.関西高校 B・・・・・・・・6着 3'28"41
- 2.膳所高校・・・・・・・・4着 3'25"16
- 3.小松高校 A・・・・・・・・2着 3'19"49
- 4.敦賀工業高校・・・・・・・・1着 3'17"31
- 5.東舞鶴高校・・・・・・・・3着 3'22"96
- 6.松山東高校・・・・・・・・5着 3'28"04

スタートから遅れ中盤少し盛り返したかに思えたが、ラスト徐々に力尽きるように遅れビリ。完全な力不足を経験した。

前夜祭はいつもの『レイモン』でグールグールと世界焼きを楽しんだ。途中、森川先生も参加し、12時まで騒いだと言う。予選の日も保護者と一緒に12時まで飲んだ。元気だなにより！仲良くコミュニケーションをとっている事を喜ばしく思った。

5月5日(火・こどもの日)今日は更に応援人数が増えた。東レの赤木父、17H 小林父「嵐を呼ぶ男」は今回何も起こさなかった。一瞬、大雨でも降らすのではないかと心配してしまった。小林父さんごめんなさい！！19H 草地夫妻・味野夫妻、20H 高橋夫妻が加わり更に賑やかなブースとなった。

高校男子シングルスカル

決勝 9:15

- 1.原田(今治南高校 B)・・・6着 3'45"66
- 2.坂上(阿賀黎明高校)・・・1着 3'29"71
- 3.池口(米子工業高校)・・・5着 3'42"16
- 4.御手洗(今治南高校 A)・・・2着 3'34"54
- 5.前田(関西高校)・・・・・・・・4着 3'37"94

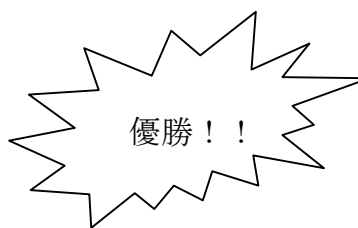
6.荒木(若狭高校 A)・・・3着 3'36"92

Jr.強化合宿参加の坂上君にどこまで喰らい付いていけるかと、ハラハラしながら観戦した。中盤までは2着につけ頑張っていたが、終盤抜かれ4位に終わった。メダルは逃したがそれでも、前田の頑張りに皆笑顔だった。

男子クォドルプル

決勝 12:15

- 1.敦賀工業高校・・・2着 3'18"93
- 2.瀬田工業高校・・・6着 3'23"69
- 3.熊本学園大附属高校 A・・・4着 3'20"89
- 4.伏見工業高校・・・3着 3'19"25
- 5.小松高校 A・・・5着 3'21"49
- 6.関西高校 A・・・1着 3'15"68



大仏と化した浅野と岡山の織田信長と自称する角南。森川先生の悪戯マジック今年の犠牲者です。750m から観ているとブッチギリで優勝を決めたように観えた、いったい何艇身開けたのかと皆で言い合ったが、3秒差・1艇身半差であった。

今回の朝日レガッタは熊本の強化合宿に多数の高校が参加していたため全体的にレベルが低く、全てのレースに於いてブッチで勝つくらいでないとインハイに向けて勝ち抜いていけないと言われていた。美方・西市・日田・宇和島東・江津・宮島工業と聞きなれた学校が出ていなかったり、Bクルーで出ていた。彼らは熊本で頑張っていた。記録を見ると美方がクォド全て1位でゴールしていた。ダブルは日田と宇和島水産が張っている。選抜・朝日と続けて勝利したが、モチベーションを上げて次に望めるだろうか？怒涛の5・6月が始まった。試合と合宿が立て続けに行われる。

子供達は優勝のお祝いに『天下一品』でこってりニンニクラーメンを先生にご馳走に成り、琵琶湖を後にした。帰りのバスはニンニク臭がたちこめ、居眠りする姿が目立った。8月のインハイは、またこの琵琶湖で優勝を喜びたい。

《インハイまでの出来事》

中国大会県予選・高島杯百間川レガッタ

5月10日(日)、来月湖山池で行われる中国大会の予選であると共に高島杯も兼ねて30℃を越える真夏日の中、百間川で行われた。湖山では朝日レガッタに来ていなかった西市・江津・宮工・宇和島東など中国地区の強豪校が集まり、斑蛇口湖での強化合宿の成果を見せてくれるだろう。琵琶湖から帰って2日しか練習は無かったが、クルーも変わり新たなチームで試合に臨む。関西の独壇場ではあるが、関西対決も見ものである。ポイントレースのため全て2回レースをする。3年はシングル・ダブルに出場し、クォドは全て2年生で固まっていた。力が均衡するようにクルー編成されているはずだが、それでも差がつくのが不思議で面白い。

シングル

箕浦・・・2着	}	1.箕浦・・・4位
角南・・・1着		2.角南・・・2位
澤・・・2着		4.澤・・・3位
光亦・・・1着		6.光亦・・・1位

1回戦は澤が光亦に遅れをとらずについていった。2回戦目はブッチで光亦が快勝する。

ダブル

関西 A(檀原・前田)・・・1位

関西 B(村田・市川)・・・2位

2本ともAの勝利。全くの関西独壇場でゴールする頃、目の前750m付近を他校のクルーが通り過ぎていく。2回戦は6レーンのBクルーがコースアウトし3レーンにまで侵入、応援団からは接触するのではないかと思うほどに連なって観えていた。慌てて審判艇が近づき修正した。レースは成立したのだろうか和白旗が揚がるのを凝視し、アナウンスを待った。レースは成立し、何もなかった様に挨拶に来た。前田は檀原を勝たせてやる事が出来たと喜んでいて。坊主に成っていた檀原は昨日オールを折ってしまったと言う。どうやら国体5連覇記念の物らしい。試合前日にバリカンで坊主という余計な仕事を母に与えてしまったが今日の勝利はちょっとした母の日のプレゼントになった。

舵手付きクォドルブル

関西 A(S 佐藤・3 岸本・2 松島・B 高嶋・C 家近)・・・1着

関西 B(S 浅野・3 高田・2 井上・B 坪田・C 正宗)・・・2着

2本ともAの勝利。2人のCOXの良く通る声が印象的だった。共に45キロという軽量級ではあるが舵の取り方は上手だと評判を聞いた。漕手の細さが気に成る。55キロが2人いるそうだ。

3年用・2年用とOB保護者用に1つずつテントを用意してくれていたの、炎天下をしのご事が出来た。冷たいコーヒーとお茶が途中配られた。もっとも、お父さん方はテントからはみ出し、夏の日差しを体中に自ら感じていたし、日傘を差し立ち話に興じるお母さん方も多かった。

新入部員を引き連れ、2年の岡本が挨拶に来た。今日は出番がなく、お世話係をしている。19名もの人数に「よくぞ、ここまで頑張って拉致した！！」と心の中でエールを送った。只、ここから脱落せず何人残ってくれるのかとコロコロと並んでいる1年生を眺めた。最初は24人いたらしいが、あの手この手で篩にかけているような。例年はお客さんとして大事にしていたが、大事にする中にもチクッと『勉強と部活の両立は出来ませんよ〜』とか、囁いてるような。

山口合宿

5月15日から三日間宇部市の小野湖にて『携帯沈没事件』が起こった。キャプテン榎原に並漕中、伴走艇で怒鳴り声を飛ばしている最中に先生本人の見守る中、湖の中に落ちていった。数十メートルの水底にゆっくりと沈んでいく携帯をジッと眺める事しか出来なかった。4月に機種変したばかりのピカピカの携帯・・・心の中で涙した事であろう。この時のことをブログにもUPしていたが、5月20日のPTA総会後の講演会で「人間は怒っていたら、ろくな事がない。勝つには感謝の気持ちの次に笑顔です。」と語っていた。安仁神社の神主さんの「貴方の身代わりになってくれたんですよ。」の言葉に上乘せし、怒っていたから携帯を落としてしまった。と自分自身に言い聞かせているのだろう。

PTA 総会後の講演会

5月20日(水)関西高校3階会議室。PTA総会で配られていた今年のカンパニオンには、2年佐藤が表紙を飾り20Hの林田・藤原がコメントを寄せていた『関西スクールガイド』。また、『KANZEI NAVI 2009』の冊子には光亦がボート部代表としてロースー姿で掲載され、森川先生も登場し熱血先生として紹介されていた。引き続き講演会会場となったので机の上に置かれた冊子を持ち帰ってしまった。先日の中国大会県予選でお誘いを受けていたので、OB保護者も都合の付いた方がこのこ？わざわざ？拝聴しに来校していた。以前、先生の講演会が行われた時にもOB保護者が何名か来校されていた事を思い出した。あの時は、お揃いの長渕トレーナーを着用されていた。着て行こうかな？と思ったが天気予報で30℃ぐらい気温が上がりそうだと断念して諦め、Tシャツにしようか？とも思ったが、やっと治まってきた日焼けの肌を眺めこれも断念してしまった。ま、誰も着て

いる人がいなかったのて浮かずにすんだけどね。

講演の内容は、ボートを知らない保護者にもわかり易くと DVD を映し、児島競艇とは違う事を示した。ボート部創部からの歩みを冗談を交えながら話は進んでいった。何も分からない手探りの状態で参加した初めてのインターハイ・台風による艇の損失・国体 5 連覇で急行列車から降りられなくなったまま走り続けて行くための目標の持ち方・『感謝の気持ち』と『笑』の大切さについて 50 分の講演はアッと言う間に終わってしまった。最後に先生は部員募集の声をかけていた。「東大以外の東京六大学に入れます！早稲田・法政・明治と OB が沢山います。」・・・って、そこまで言っているのか！？！？

県総体(インハイ県予選)

5 月 31 日(日)百間川。新型インフルエンザのお陰で総合開会式が中止と 22 日に発表されていた。試合は予定通り行うと言っていたが、心配しながらこの日を迎えた。

天気予報では怪しい事を言っていたが、朝から快晴。暑くなりそうで日焼け止めをたっぷり塗りたくって応援に出かけた。関西応援団の所だけに人だかりがあるのみで、去年まで盛り上がっていた東商は極少人数で寂しさを感じた。

男子シングルスカル予選 1 組 9:30

2.関西 A(前田)・・・1 着

3.関西 C(市川)・・・2 着

東商の泉谷君が後半加速してきた。応援団は「上げろ！上げろ！」とヒヤッとしながらゴールするまで声を張り上げた。

男子シングルスカル予選 2 組 9:45

2.関西 B(箕浦)・・・1 着

安心のブッチギリレース。

この後のクォードのレース迄時間が開くので、応援団はおしゃべりモード全開。今日は 1 年生保護者の初応援に来られた方が数名あり、解からない専門用語や審判艇の白旗の振り方に質問が飛んでいた。部員数も 19 名から 14 名に減少したとか。ここからは余り減らないで欲しいナ！と思う。

19H 赤田を発見。樫原母・安井母・岸本父と久し振りに見る OB にワラワラと集まってきて声をかける。部活の事、戸田の事、学校の事と聞きたい事は山ほどある。四年で卒業できる様に単位もしっかり取っていると聞き、感心するやら羨ましいやらである。兎に角、元気なのが何よりだ。彼は去年ストレスや腰痛に悩まされていたと聞いていたが、全日本新人戦・お花見レガッタと優勝を決め波乱の一年を送っていた。教育実習に帰って来ている依田君もとい、依田先生の顔も見なかったが、残念、出くわす事は無かった。

男子クォドルプル 11:15

3.関西 B(C 鶴見 S 佐藤 2 岸本 3 松島 B 高嶋)・・・2 着

4.関西 A(C 岡本 S 光亦 2 澤 3 浅野 B 角南)・・・1 着

2 艇のみのレースの為、何艇身差がつくかがレースの見所。前日の練習では 1000 m より短かったが 3 艇身あいたので今日はもっとか？出来れば詰めてもらいたいというのが 2 年保護者の気持ちであった。A のオールが止まった後 5、6 回漕いだのを確認し、帰りにタイムを見て帰った。A が 3'11"77 B が 3'23"87 の 12 秒差。朝日レガッタの対抗クルーと 2 年チームの力の差は今のところこんな感じ。A クルーのタイムは百間川レコードに今一步であった。B クルーは佐藤の太股に保護者の視線が集中していた。立派な足に成ったなあ〜。「炭火焼にしたら、脂がジュワッと出てきて美味しそうな感じじゃなあ。」と感想が聞こえた。後ろ姿を見るとテーピングが立派な太股に 2 本しっかり貼ってあった。

男子ダブルスカル 11:30

2.関西 B(井上・高田)・・・2 着 3'32"83

6.関西 A(樫原・村田)・・・1 着 3'26"64

B クルーは 2 年生が初めてダブルを組んだ。二人とも気合を入れて、昨日坊主にしたと言う。挨拶での坊主姿に「何をやったん？」と 2 年保護者に思わず聞いてしまい、ちょっとバツが悪かったが、こんな勘違いをするのは将軍様のせいにしてしまおっと！

男子シングルスカル決勝 11:45

2.市川・・・2 着

4.箕浦・・・3 着

5.前田・・・1 着 3'41"46

箕浦が他校に詰め寄られたように見え、声援はオールが止まるまで続いた。

翌日の朝刊には『“エンジン”全開』と見出しが付き、今年のクルーの特徴を「ハンドリングの良いスポーツカー」と先生のコメントが掲載された。

百間川での試合は後、国体県予選を残すのみ。それが終われば国体終了まで全て県外になってしまう。気軽に足を運べるのももう少し。今度は何人かの OB の顔も見られる。6 月 21 日が今から楽しみだ。

中国大会

6 月 6・7 日(土日)鳥取・湖山池にて。中国大会の応援・観戦の楽しみ方は、全国大会に繋がっていない為、一つは意外なクルー編成で出場してくる事だ。対抗メンバーがシング

ルやダブルで出てきたり、2年生と組んでみたりと選手の試合なれ・底上げを図っているかのような面白さがある。二つ目は、その名の通り、中国地方の強豪校の実力が伺える。今年朝日レガッタに殆どの学校が出ていない。皆、熊本で合宿していたから。松江レガッタで一部の学校を垣間見る事はあったが、2ヶ月でどれだけ成長しているのかお互い楽しみだ。

シングル予選

09:40 光亦・・・堂々のブッチギリ1着

11:20 澤・・・コースを外れてしまい2着で何とか予選クリア

13:00 角南・・・1着で母もホッとす

ダブル予選

13:10 樫原、前田・・・1着で母も安堵

クォドルプル予選

10:30 C家近S佐藤2岸本3松島B箕浦・・・1着だが伝説を作る

岡山は朝からお天気もよく、暑くなりそうな気配だか湖山は違ったようだ。今日は第二顧問の木村先生も応援に駆けつけて下さっていた。全員予選通過はしたものの、内容は今1つであったようだ。今回伝説を打ち立てたのは2年佐藤。何と、何と、スイープ用のクラッチを付けてしまっていた。何故？高校生でスイープを漕ぐ事はまずないはず。フォアやエイトで使う片手漕ぎ用のクラッチではオールが動かなくなってしまう。慌てて帰って付け直しの作業を、先生を含めみんなでするが佐藤はテンパってしまい、きっと不安と焦りとクルーへの申し訳なさで自分が情けなくなったのだろう、とうとう泣き出してしまった。焦りは他のクルーにも移ってしまったようで、COXがいるにもかかわらず艇は蛇行し、どうやら隣のレーンでゴールを決めてしまった。これはCOXのミス？それとも舵を切ってもそれ以上に曲がったのか？・・・走行妨害にならなかつたらレースは成立し、失格にならないんだ！・・・と初めて認識させられた。そして、佐藤は伝説の男として今年度二人目に登録された。

山陰は肌寒さを感じたそうだ。気温は20℃とか。30℃近くなった岡山でも夕立？雷が鳴りにわか雨が地面を濡らした。明日の決勝応援に依田先生も駆けつけてくれるという。

準決勝・決勝と参加クルーは全ての種目の上位を関西で埋め尽くすべく頑張ると張り切っていた。

準決勝 シングル 光亦・・・今日もブッチギリで1着

角南・・・澤と当たったが1着

澤・・・2着

ダブル 樫原、前田・・・1着

クォード 家近、佐藤、岸本、松島、箕浦・・・1着
決勝 シングル 優勝 光亦 2.角南
ダブル 優勝
クォード 4位

澤は残念ながらレース中“沈”した模様。艇も本人も無事でなにより。詳しい話はこの日の深夜、掲示板に投稿された保護者(岸本母)のコメントで明らかになった。

まさに関西魂

中国大会シングル決勝レース...澤クン。

確かに結果は残念でしたが、久しぶりに胸が振るえました。お腹を見せた艇を戻し何度も何度も水中よりジャンプして艇に乗り込もうとする彼。しかしその度バランスを崩し再び水中へ...それでもまたレースに戻ろうとする決してあきらめない貴方に、熱い関西魂を見ました。手の届かぬ我が子の姿を遠くに見て、震える母の側で涙がこぼれました。

レースに賭けるこの熱い気持ちがあれば、必ず結果に結びつくはず

JOC ガンバレ!!

今日のレースを観た保護者全員、応援しています。

そういえば・・・もう2年前になるが旭川に練習を見に行った時、20H 高橋が『沈』してしまい、どうするのかと心配しながら見ていたが周りの部員は誰も手は貸さなかった。むしろ「岸に戻るな!!」「まず艇をひっくり返して、飛び乗れ!!」「練習じゃあ!」とクォードに乗っていた19H 三村が指示を出していた。暫く練習を中断し高橋を見守った後、「やれば出来るじゃろう」とやっとの思いで艇に乗りグッタリ疲れた姿を確認して練習に戻って行った。その時の姿が一瞬思い出された。とても容易に艇に戻る事の出来ない難しさ、それも試合中に・・・。シングルには水の中から乗艇する技術も必要なのだろうか？

今日も風と寒さの中、森川先生・木村先生・依田先生・保護者応援団の皆様お疲れ様でした。岡山はと～～っても暑うございました。

この日をもって、2週間教育実習に帰っていた日大の依田先生は戸田に戻って行った。森川先生と子供達とも刺激し合って、お互い実りのある時間を過ごしたようだ。

JOC(全日本ジュニア選手権)

今年も Jr.の季節が来た。今年も去年と同じく6名の選手を関西は送る事が出来た。キャプテンの樞原敬佑・光亦裕登・前田秀隆・角南淳・市川智洋・澤雄樹、今年こそは代表選出へのドラマを見せてくれるのだろうか？先生の「私をフランスへ連れてって!!」コールが響き始める。

熊本県斑蛇口湖。素晴らしく眺めの良い2000mコース。日頃1000mしか経験の無いものにとっては厳しい試練の場となるが、耐え抜けばひと回り大きくなるチャンスだ。橋の

上から下に行くボートを見下ろすと、ちょっと足が竦む。しかし、他では経験の出来ない眺めである。観覧席より望めば瀬戸内海の島と島の間から浮き上がってくるように感じる。

No.16 C組 11:00 角南 淳

キニナル・・・選抜3位日田・佐藤君と今治工業・菊川君

No.17 D組 11:08 光亦裕登

No.18 E組 11:16 前田秀隆

キニナル・・・朝日4位強化合宿参加唐津西・山下君

No.19 F組 11:24 市川智洋

キニナル・・・強化合宿参加塩釜・佐藤君

No.24 K組 12:04 澤 雄樹

キニナル・・・選抜2位むつ工業・石田君

No.25 L組 12:12 樫原敬佑

キニナル・・・宇和島水産・酒井君

小浜の長田君や阿賀黎明の坂上君とは予選では当らなかったが、いずれ勝負をしなくてはいけない。他にも気になる子が数名いる。あ～～！神様 関西クルーに微笑みを！！

6月10日(水)雨の中、鬼火弾号は頭に7艇乗っけて平松父さんと出発して行った。掲示板にはOB・OB保護者からの応援メッセージが入ってきた。

6月11日(木)、参加メンバーの母4人が乗り合わせして斑蛇口湖に向かう。

6月12日(金)

《予選》

角南 淳 日田高校の佐藤1位で2位に着ける8'21"74→敗復へ

光亦裕登 2位に8秒以上の差をつけ1位8'8"25→準決勝へ

前田秀隆 4位8'32"86→敗復へ

市川智洋 6位8'49"92→敗復へ

澤 雄樹 5位8'56"41→敗復へ

樫原敬佑 5位8'53"35→敗復へ

《敗者復活》

澤 雄樹 5位8'58"36→順位決定へ

樫原敬佑 4位9'05"73→順位決定へ

角南 淳 ブイの上をブイブイ言わしながら(光亦母談)1位8'39"29→準決勝へ

前田秀隆 5位9'12"69→順位決定へ

市川智洋 4位9'03"36→順位決定へ

6月13日(土)樫原父・角南父らが応援に加わり10人に。今日の順位決定では関西対決が

行われる。頑張れ！皆がライバルだ。私がパソコンの前に居ると踏んで結果を問い合わせてくる保護者あり。それも仕事中に！口を揃えて言う事には「気になって、仕事が手につかん～～」とか「今日に限って仕事場でパソコンが覗けない～～」「携帯、マナーモードにずっとしてるから」・・・そう言えば昨日も別口で「仕事中ずっと開いて結果を探しとった」とメールが入ってきた。角南が3位と伝えると「タイムは何番目？」「10番目ならBに行けるから調べて！」といわれ必死で見比べた。そこら辺の事は経験者なら良く知っている。私はそうだったっけ？覚えていないし、気が付かなかったな。てな事で、高体連の結果とにらめっこ。タイムは全体で11番目だけど3位の上位2人になら入っている(4位に1人角南より良いタイムがあった)。光亦母からお祝いメールの返事が返ってきたのを幸いに尋ねてみると「B決勝に名前が載ってた」すぐさま2人に送信する。勿論喜びの声が返ってきた。やっぱりジュニアはこうでなくっちゃ！

《準決勝》

No.53 9:32 角南 3位 7'56"38 3位だけどタイム順で→B決勝へ
 No.55 9:48 光亦 1位 7'41"74 今日のトップタイム！！→A決勝へ
 世界や～～～！！日本代表や～～～！！フランスとアジアが見えてきた！！

《順位決定》

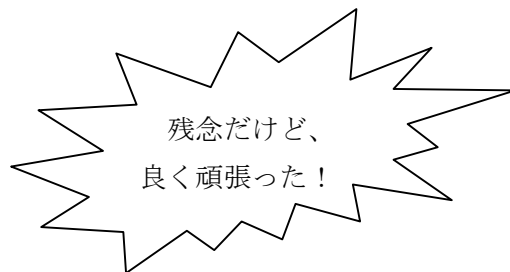
No.68 11:32 前田 L3位
 No.69 11:40 澤 K4位
 樫原 K3位
 市川 K5位



6月14日(日)角南はアジア、光亦はフランスを賭けた決勝が始まる。どの子が勝っても可笑しくない。強靱な精神力と明るさを持っている子が勝ちに行くのだろう。気負う事無く精一杯の力を出し、悔いの残らない試合をして欲しいと願うだけだ。

《B決勝》 09:56

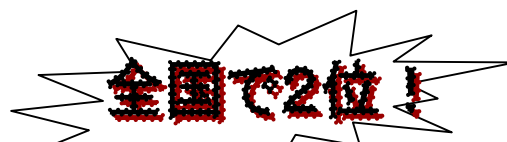
- 1.角南 関西高校・・・5位 8'11"12
- 2.佐藤 日田高校・・・2位 7'53"00
- 3.山下 唐津 jr.・・・1位 7'52"04
- 4.武田 仙台大学・・・3位 8'01"81
- 5.杉野 今治西高校・・・4位 8'05"74
- 6.栗山 浜松湖南高校・・・6位 8'11"81



《A決勝》 10:12

- 2.坂上 阿賀黎明高校・・・3位 8'06"74
- 3.長田 小浜水産高校・・・4位 8'10"96

- 4.光亦 関西高校・・・2位 8‘01 “57
5.石田 むつ工業高校・・・1位 8‘00 “31



祝 世界へ！！

光亦の成長は噂で聞いてはいたが、素晴らしい程に成長していた。強化合宿に参加したばかりの頃、日本代表へは今少しの所であったが、頂点へ向かって走ってきた成果をありありと自ら示している。誰かが『ばけもん』とその成長振りを現していたが、正にその通りかもしれない。努力を怠らなければ、この先どこまで化けるか知れないのが、とても楽しみだ。

角南は、とても残念であったが、今まで彼のクォードの姿しか知らなかった者としては、やっぱり驚きであった。彼の個人としての実力が、ここまで有ったとは！束の間の良い夢を見させてもらった。しかし、あの素晴らしい体格を見ると、これからが楽しみでもある。インハイ・国体に向け突き進んで欲しい。

光亦母の投稿文を載せておこう。母達の気持ちが伝わってくる。

JOC から一夜明けてまずはお礼を申し上げたいと思います。

お忙しい中、鬼火弾号を運転して下さり熊本でも子ども達と一緒にいて下さった平松さん、PCの前で今か今かとレース結果を待ちながら応援して下さった皆様、まるで我が事のように心配したり喜んだりして電話やメールを下さった方々、そして誰より森川先生、本当にありがとうございました。お蔭をもちまして息子裕登はCREW JAPANのメンバーとして世界への切符を手にする事ができました。

11日に応援団1便で熊本へ出発した私ですが、ワイワイと賑やかでSAには寄り倒し、車中にはお菓子が飛び交いまるでプチ修学旅行のようでした。でも、斑蛇口湖に到着するとそんな雰囲気も吹き飛ばすような緊張した面持ちの子ども達がありました。

レースが始まり、次々と出艇していく子ども達に「どうか今まで頑張って来た成果が存分に発揮できますように」と祈るような気持ちで応援場所からエールをおくりました。

結果は前述の通りですが、みんな本当によく頑張ったとおもいます。B決勝・A決勝では手に汗握るような、瞬きさえも惜まれるような試合でとても感動しました。こんな感動を与えてくれた子ども達に感謝します。ありがとう。そしてお疲れ様。

明日からまた次の試合に向けて進化していけるよう頑張ってください。

『旭川から世界へ！』

...今年は『旭川からフランスへ！』

さて、光亦が抜けた関西クルーはインハイに向けて走り始める。先生はクルー編成をどうするのだろうか？2年前までは誰かしら日本代表に選ばれ主力が抜けたままインハイに立ち向かった。条件は同じ、愚痴は言えない。今年は引き続きの熊本合宿や世界大会前にスイス一週間の合宿が挟まる為、国体予選も光亦がいない状態で迎える。8月が熱くなる。関西温暖化現象が起き始めた。シート争いもさることながらスケジュールも慌しくなってきた。6月がもう直ぐ終わるが、森川先生はゆっくり浮世の憂さを晴らせる時間が取れるのだろうか？

国体県予選

6月21日(日)、百間川にて。今年も懐かしいOBの顔がチラホラと見られる。誰が何に出るかは噂の域を出てなかったなので、楽しみに出かけた。関西クルー編成もどうなっているかドキドキもんだ。

シングル 光亦・・・1位
前田・・・2位
澤・・・3位

前田が過呼吸だろうか、グッタリとなり2人に抱えられて挨拶に来た。どんなドラマがあったのだろうか？

ダブル 村田・樫原・・・1位
クォドルプルA・・・1位
B・・・2位
C(1年) 4位
D(1年) 5位

今年の1年の初試合はどちらの艇も真っ直ぐ進み勝った方は手を上げて喜んでいった。

OB シングル・・・・・・・・・・・・・・2位敗退

(法政・木村)

ダブル・・・・・・・・・・・・・・2位敗退

(龍谷・安田 明治・藤原)

付きフォア・・・・・・・・・・・・・・1位→中国ブロック大会へ

(日大・若山 トヨタ自動車・上田 早稲田・上谷 龍谷・増成 明治・小西)

怒涛の5・6月がやっと終わった。先生はカラータイマー充電に余念が無いようで、あちこち飲み回っているらしい。百足屋萬年堂というOBの居酒屋に入り浸っていたようだ。23日には光亦を連れて操南中(母校)に訪問し、学内放送で「世界で戦う事」の報告を行ったりもしていた。この後、光亦は合宿で忙しくなり、練習に参加する事が無くなる。

第 64 回国民体育大会中国ブロック大会

7月17日(金)、8時過ぎ雨のテニスコートよりOBと共に出発する。出場部員は積み込んでいない荷物がまだあったので保護者の車でまとめて上がって来た子、雨の中ずぶ濡れで歩いてきた子もいた。チャリで上がって来ていた留守番組の見送りを受けながら、平松父の運転で松江に向かった。先生はお疲れMAX。前日にまたまた抜けた前歯を接着剤で応急処置をしたにも関わらず、食べ物の誘惑とは怖いもので蒜山の生キャラメルに喰らいつき、取れてしまった。夕食は『庄助』の柔らかおでんで平松父と静かに飲んだ。

7月18日(土)、予選。サポートで付いて来ている岸本が行ったり来たりしている。

9:30 少年男子シングル②

- 1.岡山選抜(光亦)・・・・・・・・・・1着 3'20"75 15秒差をつけブッチギリ
- 2.鳥取県選抜・・・・・・・・・・2着 3'38"57

10:50 少年男子ダブル②

- 1.周防大島高校・・・・・・・・・・1着 3'13"58
- 2.岡山選抜(S.樫原・B.村田)・2着 3'19"83 →敗復で闘うが敗退

12:00 少年男子クォドルプル①

- 1.岡山選抜・・・・・・・・・・1着 2'57"66 決勝へ
(C.岡本 S.角南 3.澤 2.浅野 B.市川補.前田)
- 2.山口選抜・・・・・・・・・・3着 3'03"55
- 3.宮島工業高校・・・・・・・・・・2着 3'01"78

12:40 成年男子付きフォア①

- 1.鳥取県選抜・・・・・・・・・・3着 3'09"21
- 2.JFE スチール西日本・・・・・・・・1着 2'57"51 決勝へ
(C.善木 松本)
- 3.山口選抜・・・・・・・・・・2着 3'01"50

12:50 成年男子付きフォア②

- 1.岡山選抜・・・・・・・・・・1着 3'00"62 決勝へ
(C.小西 S.若山 3.上田 2.上谷 B.増成)
- 2.島根大学・・・・・・・・・・2着 3'09"62

7月19日(日)決勝。岡山から現役部員を乗せた保護者が増え、OB保護者も顔を見せ朝日レガッタを彷彿とさせる人数に膨らんだ。他校の団体が全く無いが・・・中電艇庫の前に僅かに補漕の子や監督などがまばらに点在するだけだ。関西の応援は凄かった。部員は金色のポンポンを持ちピンクレディーの『サウスポー』の替え歌を歌いだす。関西クルーはいつものごとくその応援を当たり前のように校歌を歌い上がっていったが、OBの反応は違った。現役の朝日レガッタ以来の出来事に、苦笑いや照れるやら微妙な反応であったが、まだ、岡山選抜は関西OBばかりだから問題は無かった。広島代表JFEの松本(14H)と善

木は困っただろう。「なんじゃ？あの応援は」「関西すげー！」「善木、今までもあんなんや
ったんか？」「おいおい！どうなっとんじゃ！？」と、ビックリしたクルーに言われてんじ
ゃないかと想像しながら笑って見ている。

9：10 少年男子シングル

- 1.岡山選抜(光亦)・・・・・・・・優勝 3 '16 "69 6秒差をつけて国体へ
- 2.松江高専・・・・・・・・・・3位 3 '27 "28
- 3.鳥取県選抜・・・・・・・・・・2位 3 '22 "97

10：30 少年男子クォドルプル

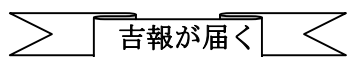
- 1.宮島工業高校・・・・・・・・・・2位 3 '06 "25
- 2.岡山選抜・・・・・・・・・・優勝 3 '04 "78 1艇身以上差をつける
- 3.島根選抜・・・・・・・・・・3位 3 '06 "78

10：50 成年男子付きフォア

1. JFE スチール・・・・・・・・・・優勝 3 '05 "35 国体へ
- 2.山口選抜・・・・・・・・・・2位 3 '07 "19
- 3.岡山選抜・・・・・・・・・・3位 3 '08 "66 残念！国体出場成らず

負け惜しみ・・・イソップの「すっぱい葡萄」状態で帰る。新潟遠いし、9月には全日本
選手権(戸田)と国体両方じゃ大変じゃし・・・等等、ホテルまで予約しガイドブックを購入し、
行く気満々であったのを念頭から追い出し都合の良い方向へ持って行こうとしていた。途
中、ヤケ食いランチを摂っていると、土砂降りの雨が降ってきた。車の中で溜め息の数を
数えられていることに気が付き我慢していたら欠伸^{あくび}が出てきた。あ~~~~夕飯の支度、し
たくな~~~~い！

この大雨で翌日、山口や鳥取は土砂崩れが起き、関西は朝からダム^{ダム}の放流が始まると部
員保護者は5時に呼び出され作業にいそしんだ。3連休最後の1日は撤収作業で始まり、午
後は疲れで皆グッタリ・ゴロゴロ過ごしたに違いない。そして、22日には光亦が出発。関
空に一泊し、スイス合宿のあと、おフランスに行くのだ。それも、ド田舎・・・クロマニ
ヨン人だのラスコーの壁画だのとマニアックな観光客しか行きそうに無い所らしい。未成
年だから折角の本場のワインもお預けだ。ボートに集中できて案外良いのかも？



チェコで行われていた U-23 の結果が飛び込んできた。**銀メダル！** 決勝に日本が
進む事自体快挙ならメダルを取るなんて、日本にとって、関西高校にとって、チーム森川
にとってこんなにも輝かしく素晴らしい報告は初めてだ。おめでとう！！三村君(日大 2

年)！後に続け光亦！と願わずにはいられない。そして、NTT 東日本の大村さんもポーランド行きが決まったという。軽量級で優勝すると世界への出場資格をもらえるそうだ。出場資格とは、「金は出さん。」という意味で会社の了解がやっと出て行けるように成ったらしい。マイナー競技の辛さと日本ボート協会の資金の無さを感じる。

2009 近畿まほろば総体(奈良インターハイ)の巻

今年も高校生の夏がやって来た。梅雨が長引いていたので天気が心配されたが、予選の午前中に一時中断するほどの豪雨があり、約1時間ずれる事になっただけであった。ただ、JR湖西線はダイヤが乱れ京都駅のアナウンス嬢がパニック状態になっていてホームで電車を待っていた人々の失笑を誘っていた。

さて、7月29日に鬼火弾号は琵琶湖の青年会館へ向け出発した。今回のサポート陣は3年のキャプテン櫃原・鶴見と2年岸本・佐藤。特に2年生の2人は間近で大きな夏を経験することとなった。

今回から、琵琶湖漕艇場のコースが変更となり、スタートとゴールが逆になる。本部もゴール地点側にテントを張り、SHOPと選手の控えテントがまとまって建てられている。近江大橋が直ぐ間近に見上げられる。駐車場も橋の向こう側で応援団は初日、雨の中2キロ歩いたと言う。選手たちも宿舎から余りに遠いので・・・先生のお力で龍谷大学ボート部から6台のチャリを借り、残り6台は青年会館に掛け合い

「琵琶湖に来た人はレンタサイクルがあれば、絶対借りますよ！レンタサイクル置いとくべきですよ！」

と、上手にその気にさせ揃えさせた模様。高い？レンタル料を払い6日間を過ごす事にした。確かに、石山駅から650m付近の関西応援団まで歩いてみたが、とっても遠く感じた。いつものリギンク場になっていた公園は閑散とし、人が集まっていた掲示板は何も張り出されず、建物の中に申し訳のようにレース結果が壁に張ってあったが、見に来る人は殆んどいない。そこから、応援する人もまばらな川べりをひたすら歩くとやっとなり500m辺りからノボリが立ちはじめたが、ノボリも岩の隙間ではなくテントの側にしてくださいと注意されコジマリまとまっていた。どうやら公園の側にマンションが建ち苦情が出たのが原因だそう。また、周りの店舗も協賛が無く駐車場の協力も得られなかったため、遥か彼方に用意された。朝日新聞の力の大きさと、奈良県の力の無さが目に映るようだった。まあ、結局遠いからナフコやゴルフ5・函館市場・ラーメン屋の駐車場に皆置いていた。さながら全国ナンバープレートの見本市か！？選手の控えテントも狭く、急遽テントを2つ入手し立てると、他校もそれぞれマイテントを建て始めた。何処も考える事は同じ。と森川先生談。

8月1日(土)予選。3日間はクォードから試合が始まる。予選は・・・特にクォードは光亦が抜けていても大丈夫だろうと、私は京都に居るにも関わらず会場に行く予定をたてていなかった。

男子クォドルプル2組 9:24

- 2.千葉県 小見川高校・・・1着 3'28"24
- 3.滋賀県 瀬田工業高校・・・2着 3'36"37
- 4.福島県 田村高校・・・・・・4着 3'41"13
- 5.岡山県 関西高校・・・・・・5着 3'48"31 →敗者復活へ
(C.岡本 S.角南 2.浅野 3.澤 B.市川)
- 6.長野県 諏訪清稜高校・・・3着 3'36"60

5着?ビリ!!何で??私が京都に潜んでいる事を知っている保護者からのメールに慌てた。掲示板を開き、先生のブログに腹切りについて書かれてあり、これはイカン!と午後からの試合の応援に行く事にした。300m・650mと保護者の目の前で完全ストップしオールを抜くの苦心していたという。これは・光亦が居ないプレッシャー?V2のプレッシャー?気負いが空回りしたのか?角南がんばれ!!

一方、先生はこのレース後、青年会館に避難していた。会う人会う人に「関西はどうしたんですか?」「何があったんですか?」の質問攻めに「実力です!」と誤魔化しながらその場から離れたのだから、携帯は捨てる事が出来ない。朝日・中部・中国新聞から問い合わせが続いた。優勝候補の筆頭校ゆえだろう。可笑しくもあり、辛くも有る。予選だから、まだ次がある。まだまだチャンスは転がっている。

男子ダブルスカル8組 17:26

- 2.岡山県 関西高校・・・・・・3着 3'35"01 →準々決勝へ
(S.箕浦 B.村田)
- 3.三重県 津高校・・・・・・4着 3'47"25
- 4.熊本県 熊本学園大学附属高校・・・2着 3'31"49
- 5.福島県 会津高校・・・・・・1着 3'28"48
- 6.栃木県 佐野高校・・・・・・5着 4'10"24

パラパラと降ったりやんだりの空模様の中、一層蒸し暑さの増した会場。どのレースも艇が重い。上位3艇のみのレースと感じる試合になった。

男子シングルスカル8組 17:58

- 2.岡山県 関西高校 前田・・・・・・5着 3'53"30 →敗者復活へ
- 3.静岡県 浜松湖南高校 栗山・・・・・・1着 3'44"94
- 4.千葉県 佐原高校 塚口・・・・・・3着 3'49"20
- 5.福島県 会津高校 慶徳・・・・・・2着 3'46"82
- 6.熊本県 熊本学園大学附属高校 今里・・・4着 3'51"91

ん～～。どうしたのだろうか。緊張?硬くなってる?明日も漕ぎたいのだろうか?

試合が終わり、石山駅まで 20H 高橋夫妻に送ってもらった。仕事で今日しか来られなかったと、林田母は思い立つように新幹線に飛び乗って来てしまったそうなの。

先生は朝、顔を出した後応援席を訪れる事は無かった。明日が無ければ、飲み会の話もあったろうに……。大会関係者とも顔を合わせたくなくて、大人しく宿舎で過ごしたらしい。

8月2日(日)敗者復活、良いお天気。暑さに負けて、ちょっとリッチに石山駅からタクシーに乗ってみた。ロイヤルオークホテルまで小型で930円であると判明。会場には20H保護者が「決勝に来る予定だったけど、心配で。浜田大明神持って来ました。」急に決めて乗り合わせて来ていた。現役保護者も昨日の雨でグシヨグシヨに濡れたソックスの替えを買いにイオンに入り、見つけたのは『ガチャピン・ムック』。3足しかなかったのでも1足は市川母が2足は片方ずつ4人で履いていた。市川のニックネーム『ガチャ』(ガチャピンに似ているから)に因んでと言う。

男子シングル1組 10:24

- 1着 岡山県 関西高校・・・・・・・・・・3'45"19
- 2着 熊本県 熊本学園大学附属高校・・3'47"18
- 3着 大分県 海洋科学高校・・・・・・・・・・3'59"34
- 4着 佐賀県 唐津商業高校・・・・・・・・・・4'01"32
- 5着 栃木県 栃木翔南高校・・・・・・・・・・4'07"11

余裕のレースを見せ、復活。前田は自分のレースが出来たと笑顔の報告をした。

試合前のウォーミングアップ中、クォードの漕ぐ姿を見ながら、澤父は「普通に漕いどったら勝てますよ。」と笑顔を見せていた。そう、フツーに漕いだらね！

校歌を歌い、上がったはずのクォードクルーが戻ってくる。まだウォーミングアップかな？「何かおかしい」と前田母が言い出し、どこどこ？と皆で探す。クルー全員が岸に上がっていた。一瞬にしてざわめく。艇の故障か、オールが折れたかと心配していた。何事も無かったように再びスタート地点に向かうクルーを見送ると、誰かが「虹が出てる。」と叫んだ。見上げるとお日様の周りにまあるく虹が輪を描いていた。きっと良い結果が待っているに違いない。

先生が顔を見せてくださった。保護者の心配を気遣ってだろう。

「オールが何かに当って折れたんすわ。」

「COXがおんのに、何しとんやあ！ってね。負けたら岡本弁償や。岡本さん！8万円ね。」応援団の緊張も和らいだ。

男子クォドルブル4組 11:26

- 1着 岡山県 関西高校・・・3'19"96
- 2着 鳥取県 米子東高校・・・3'24"94
- 3着 青森県 青森高校・・・3'31"33
- 4着 北海道 石狩翔陽高校・・・3'31"63

ブッチぎってのゴールに応援団は大喜びする。

再び、先生が登場。「厄払いに行ってください。」と頼みにこられた。どうやら、色々と起こる『不』を気にしてほしい。どこに行こうかと相談の結果、午後からの観光は八坂神社に決まった。「石山寺は階段が大変よ。」と言った私のせいでは無い思うが?!八坂さんの勝ち守りは黒の絹で、とてもカッコイイから男の子でも恥ずかしくなく持てる。澤父はこの近辺に詳しいようで、豆知識を教えてくれた。滋賀県は北と南では、かなり文化や生活が違ふようで日本全国見回しても日赤が二つある県はここだけだとか、奈良もメインの法隆寺と吉野では全然違ふらしい。京都祇園についても、おいしい葛きりが食べられる店があると言っていた。・・・私もこの店は知っている。京都に来たら必ずと言って良いほど出かける。900円と破格に高いが暑い時期に黒蜜に浸けて食べると一層美味しい。水羊羹もお薦め(340円)、しかし、この後参拝に行った保護者は売り切れで食べる事はできなかったらしい。お店の名は『鍵善良房』。行く機会があれば是非お立ち寄りください。また、同じ並びに『永楽屋』という手ぬぐいやさんがある。ここもお薦めで、舞妓さんがナックルを漕いでいる図柄の手ぬぐいやハンカチ・ポーチなどが売られている。他のスポーツも何種類か置いてあるので興味のある方は行ってみてはいかがかな?

そして、先生がもう1つ裏話をしてくれた。「選手には絶対内緒にしておいて下さい。」と前置きした後

「う～～ん、サポートの子は知ってますが、絶対言わんでください。明日の準々決勝の組み合わせなんですけど・・・。今日、他校の監督から『関西は何してくれるんや!』って言われました。僕も昨日どうなるか一所懸命調べたんですけどネェ。凄い事になってます。え～～、宮工・大野沢・石巻と当たります。『敗復なんか回るから!とんでもない事してくれましたね。』って言われました。」

「でも、計算して今日の試合で2着上りを狙わせることはしたくないですから。」

他校の監督さん達も関西がどこに上がってくるか一所懸命調べたらしい。1-1 やら 2-3 と書かれた組み合わせ表を辿って。想像するに先の3校の監督は『キターー!』と叫んだだろう。普通、敗復上りの学校なんぞ気にしないものなのだから、関西は別格らしい。大沢野はダブル・クォード共に強くなっていて、クォードは関西保護者達も今年は強いと認めていた。2上がりだから宮工と石巻は青ざめたかも・・・?まさかの敗復回りは関西自身も慌てたが、他校にも余計な心配を作っていたということらしい。先生は面白そうに話してはいたが、心中はいかに??

子供達は、敗復を勝ち上がったので遅まきながらご褒美として、京都観光に連れ出してもらった。河原町・京極・先斗町方面で16時から20時までの自由行動。四条河原町辺りは京都の若者達が買い物に良く出かけるスポットで、お土産物屋に混じり、ブティックやABC マートなんて3店舗もあるし、ファーストフード店が建ち並んでいる大きな商店街が2本ある。高島屋や阪急もあるが子供たちには関係なさそう。先斗町は祇園と並ぶ花街だから出勤途中の舞妓・芸妓さんの姿も運が良ければ出くわせただろう。四条大橋を渡れば南座が聳え立ち祇園になっている。突き当たりが八坂さん。保護者は子供たちとすれ違いになっていた。

先生は、子供たちを野に放した後、学生時代通っていた某喫茶店で一人作戦会議を開いていた。宿舎に戻ると今度はOBと『霞』で飲んだ。19 植田の「また、連れてって下さい。」の言葉にしっかり答えていた。明日から厳しい試合が続くがちょっとでも飲みに行く元気が出てなにより。19 安田に聞いてみたが、瀬田の学生は『霞』に飲みに行くことは先ず無い。理由はお好み焼き屋なのに値段が高いからだ。17 時からしか開けていないお好み焼き屋なのだから子供相手の商売では無いのは確実だ。

8月3日(月)準々決勝。岡山から1・2年生が保護者の車に乗り合わせて応援に駆けつけていた。2年は大津のスーパーホテルに泊まり決勝まで応援する。昨日は芦田川レガッタで父兄と共に楽しく漕いでいた中にも琵琶湖が気になり、前田の1着の速報に歓声を上げ、オールが折れたと聞けば「え〜〜」っと低い叫びを上げ、水を開けての1着に再び歓声を上げていた。1年保護者にとっては、まだまだ琵琶湖は遠い所。よく思い切って来てくれたものだ。でも、彼らが3年の時インターハイは東北ブロック(青森・秋田・岩手)の開催・・・どうやら岩手、国体は山口。琵琶湖なんぞに驚いてる場合じゃないのだ。1・2年生と一緒に関西ブースに『きび田楽』が届けられた。林さんからのメッセージ付きだ。これで、選手も保護者も鬼退治に力をつけることが出来ると皆で頬張った。

今日の応援ブースには、いつも無いものが立てかけてあった。敗復の試合前に折ったオールが1本。角南母が振り上げて応援していた。

男子クォドルプル準々決勝1組

- 1着 富山県 大沢野工業高校・・・3'25"72
- 2着 岡山県 関西高校・・・・・・3'25"92 →準決勝へ
- 3着 愛知県 旭丘高校・・・・・・3'28"33
- 4着 広島県 宮島工業高校・・・・3'30"18
- 5着 宮城県 石巻工業高校・・・・3'31"79
- 6着 三重県 津高校・・・・・・3'48"47

500mまで大野沢がわずかにリードするも上位3艇はほぼ並んでいた。関西は追い上げをかけ迫っていく、大沢野と2艇のみの争いになった。ゴールの瞬間、息をのんで見

つめる保護者は見た。関西が、クルーが手を上げて喜ぶ姿を！！これは1着か？速報を送る。掲示板にも投稿していた。まるで優勝したかのように目に涙を浮かべ抱き合って喜ぶ母達。しかし、しかし・・・正式発表が放送された時愕然となる。0.2差で2着・・・慌てて訂正を送った。

朝から3艇の小船がコース上を言ったり来たりしながら、藻を回収していた。結構オールが引っ掛かるらしい。すくってもすくっても藻は打ち寄せてきた。艇が重く感じていたのはこのせいなのか？おまけに連日の向かい風と5・6コースの後半伸びの無さに不安を感じていた。

昼食は3年保護者と共に『函館市場』この学年は本当に仲が良い。私に気を使ってか、話題は大学ボート、興味津々で経済的なこと等聞いてくる。誰が何処へ行くのかは楽しみにしていよう。年末までには耳に入ってくるだろう。しかし皆、良く食べる。デザートまでキッチリ。暑さとか関係ないほどに。

男子シングルスカル準々決勝1組

- 1着 静岡県 浜松湖南高校 栗山・・・・・・3 '59 "04
- 2着 石川県 小松明峰高校 長田・・・・・・4 '01 "57
- 3着 京都府 東舞鶴高校 竹本・・・・・・4 '03 "95
- 4着 東京都 早稲田大学高等学院 木下・・・・4 '08 "21
- 5着 岡山県 関西高校 前田・・・・・・4 '09 "42
- 6着 秋田県 本状高校 岩谷・・・・・・4 '14 "25

先生の指示通り前半から全力で飛ばし必至で追いつがってくる。後半は力尽きるように失速したが、踏ん張りを見せてくれた。予選で栗山君とは一度戦っている。Jr.での実力も知っている。それから長田君はあの長田君(小浜)ではありません。でも「良く頑張った。」と先生は褒めた。

男子ダブルスカル準々決勝5組

- 1着 静岡県 二俣高校・・・・・・3 '51 "82
- 2着 岡山県 関西高校・・・・・・3 '53 "97 →準決勝へ
- 3着 山口県 周防大島高校・・・・3 '55 "23
- 4着 埼玉県 八潮高校・・・・・・4 '00 "32
- 5着 神奈川県 慶應義塾高校・・・・4 '03 "27
- 6着 秋田県 秋田高校・・・・・・4 '04 "96

ダブルは練習に余念が無い。早めに出艇し、何往復も漕ぎスタートに向かう。これだけ漕ぐのも敗復の昨日1日漕げなかった練習のつもりだろうか？

《ちょっと休憩》

トントンと肩を叩かれる。

「あれって、〇〇監督かな？」

どれどれと見回したが見つけられなかった。

「ピンクのTシャツだったから、イメージが違うんだけど、〇〇監督だったような・・・」
〇〇さんは赤でしょ！上から下まで。髪は茶髪の長めの印象がある。

目の前をピンクのTシャツが通り過ぎた。デカメガホンを持って歩いている。名札をチラ見して確認。確かに本人だ。頭は刈上げちょっと太ったような気がする。表情はムスツとして無理も無い。今しがた男子クォードが600m辺りで大腹切りし、オールを抜くのにもがいているのを見たばかりだ。準々決勝の腹切りは敗退を意味する。つくづく関西は予選で良かったと思う。女子のほうは順当に勝ち上がってきていた。最終日も見かけたが、しっかり赤でまとまっていた。

*〇〇監督・・・今年の新潟国体開催県、〇賀〇明高校の監督さんで教師ではなく市役所の職員である。津川漕艇場は本拠地、国体に向け気合が入っているはず。

前夜祭は『霞』での筈が、お休みだったので『麗門』で騒ぐ。1・2年の保護者にも声が掛かり、人数も膨れ上がったようだ。ダブルもクォードも2上がりの2着だし、トップタイムを打ち出しても居ない。優勝まですんなり行きそうにも無い事は冷静に考えれば明らかだ。先生も途中から参加されたが、選抜や朝日とは一味違う真面目な飲み方で、参加保護者の言葉を引用すれば「正座のまま少し飲まれ、酔う事も無く帰られた。」・・・おりこうさんで早く帰った？やっぱり心配なのだ。

8月4日(火)準決勝・決勝。今日も暑さ厳しい琵琶湖に着くと、20H千葉さんを筆頭に多くのOB保護者の顔が見えた。仙台から18H上谷母娘(妹さん)も訪れ、17H林夫妻や関西ボート部写真館の林夫妻も来場していた。連日、龍谷の安田・廣田が顔を見せてくれており、今日は同志社の植田の顔も見ることが出来た。そして、何より校長先生が来てくださっていた。桑原五郎先生。昔、誰とは言わないが、大学受験面接練習で校長先生の名前が言えなかったヤツがいたが、覚えておきましょう。保護者会・百間川や祝賀会などボート部を気にかけて応援参加して下さっています。本部の方ではなくこの関西ブースと一緒に応援してくれました。有難うございます。この四日間で3年母たちは汗で化粧が取れてしまうので、すっかり日焼けした顔になっている。わたしもサンダルの線がくっきりと足の甲に残っている。

男子ダブルスカル準決勝 2組

- 1着 富山県 大沢野工業高校・・・3'36"44
- 2着 福井県 小浜水産高校・・・3'36"78
- 3着 新潟県 阿賀黎明高校・・・3'37"07
- 4着 福島県 会津高校・・・・・・・・3'37"35
- 5着 茨城県 潮来高校・・・・・・・・3'38"65
- 6着 岡山県 関西高校・・・・・・・・3'43"63

500mまでは全艇ほぼ横一線、6レーンの関西は後半延びず敗退。

男子クォドルプル準決勝 2組

- 1着 岡山県 関西高校・・・・・・・・3'30"77
- 2着 千葉県 小見川高校・・・・・・・・3'31"16
- 3着 福井県 美方高校・・・・・・・・3'32"06
- 4着 愛媛県 今治西高校・・・・・・・・3'32"66
- 5着 熊本県 熊本学園大学附属高校・・・3'36"99
- 6着 島根県 松江北高校・・・・・・・・3'38"92

白熱したレースだった。500mでは小見川に先行され上位4艇でのせめぎあいを制した。小見川に勝った！美方に勝った！飛び上がって喜んだ。1組で大沢野が1着で決勝を決めていた。ここまで来たら力量の差はどのチームにも無い。勝ちたいと思う気持ちが強いほうが勝つのだ。

昼休憩、コンビニのおにぎりを買ってくる人、食べに行く人、食事は試合が済んでからと日陰で昼寝を始める人と其々に休む。1・2年生は『ミネルバ』や『ロングレンジ』などのSHOPで買い物する機会が少ないので、行ってしまった。が、ちょっとタイミングと場所が悪かったようで、選手の控えテントに近いことは前述に記したとおり、関西のTシャツ集団がウロウロするのはまずかった様だ。そんな事が気になるほどピリピリした状況で先生もクルーも過ごしていた。それとなく、サポートの子から連絡が入った。試合まで応援団の子供達は静かに座って待った。

男子クォドルプル決勝

- 1.富山県 大沢野工業高校 ここだけには勝てていない！
- 2.千葉県 小見川高校 さっき勝ったとは言え油断できない！
- 3.福井県 美方高校 美方は美方侮れない！
- 4.長野県 諏訪清稜高校
- 5.岡山県 関西高校
- 6.埼玉県 慶應義塾志木高校

スタートラインに並ぶ豆粒のようなクルーに向かい「琵琶湖の神様・・・ブツブツ」お祈りを始める。八百万の神だろうがお釈迦様だろうが祈って願いが叶うなら何にだって祈ってやる。

スタート！やはり出遅れた。前半の遅れを取り戻そうと頑張っていた。500m小見川、大沢野、関西の順で通過だが、小見川との差は4秒付いていたので挽回は難しいか？！650m付近目の前で大沢野を捉え2位に浮上したかに見えたが・・・。

優勝	千葉県	小見川高校	・・・	3	'34	"35
2位	富山県	大沢野工業高校	・・・	3	'38	"23
3位	福井県	美方高校	・・・	3	'40	"05
4位	岡山県	関西高校	・・・	3	'40	"92
5位	長野県	諏訪清稜高校	・・・	3	'46	"29
6位	埼玉県	慶応義塾志木高校	・・・	3	'48	"87

後半の追い上げが出来なかった。コンマ差でメダルを逃し、表彰式には笑顔が無く悔しさでいっぱいのままインタビューを受けていた。先生は次の日に「気持ちで負けてたかも。」とコメントを発表した。

この悔しさを国体に向けてガンバレ！！と励ますしかない。彼らもそれしかない事は良く分かっている。最後の関西ロースーでの試合が終わった。しかし、夏は未だ終わらない。

翌日の山陽新聞に大きく写真付きで取り上げられた。メダルを逃したにも関わらず、まるで優勝したかのように！！・・・それだけ期待されていたって事か！！

今大会は、『不』を感じさせる要因がゴソゴソ起きていた。オールもしかり、出発前の艇の故障・龍大から借りたチャリの鍵の紛失とパンク、余計な心配事があれば集中力も欠くものだ。先生は一人胸の内に納めて、笑顔を！なるべく笑顔で接していたのだろう。

8月11日深夜0:30『OHK スポーツスピリッツ』と8月26日の『あっぱれ！ジュニア』でインターハイ特集が放送された。うつむいたクルーの映像と、澤のインタビュー。他のスポーツでは2位でも4位でも笑顔で答えている。優勝以外ならビリも同じと、優勝しか考えられないといった選手はいないようだ。毎年選手は替わる。今年は今年と肩の力を抜いて欲しい。関西ロースー最後の出番が終わった。

《国体までの出来事》

長浜さん祝ご結婚！！

7月末にハワイで結婚式を上げ、8月7日森川先生の帰りを待って『百足屋萬年堂』で披露宴パーティーが行われた。どうやら、できちゃった婚らしく、ちゃんと男の責任をとって、めでたく結婚されました。2倍のおめでとう！！を申し上げます。

世界 Jr.ボート選手権大会 in フランス

8月5日から始まる大会に3日光亦(バウ)は、日本合宿・スイス合宿を終えた後、フランスのブリーブラガイヤルトへ。

予選、敗者復活戦を回り、準々決勝を6位という不本意な結果(体力温存の為後半は流す作戦)でCD準決勝に望み5位のためDファイナルへ進んだ。Dファイナルではトップを飾り19位(30か国中)となる。8月11日やっと岡山に戻ってきた。

この大会で得たものを、新潟でぶつけてくれれば嬉しいよ————。

2009 世界選手権

7月21日からの小見川合宿・ベルリン合宿を経て8月19日からポーランドのポズナンで開催された。日本からは軽量級男子エイトでNTT東日本東京(COX・OB大村君)が23日より試合に臨み敗者復活を回ってAファイナルに進み、メダルこそ逃したが5分41秒80のチーム最高タイムで4位となった。日本もメダルが狙えるところまで来たと感じさせられた結果である。

2009 アジアジュニア選手権大会派遣選手選考会

8月25日(火)、戸田漕艇場で行われた。関西からは光亦と角南。8月23日の日曜日に行われたインカレ決勝を森川先生と合宿帰りの光亦が観戦し、角南はインカレナイト(打ち上げ)で盛り上がっている夕方に到着。明治艇庫にお世話になる。

光亦は長田(小浜)と組み1着で代表をきめる。角南は決勝に進んだが4位に終わった。2人は新宿中村屋のカレーを先生にご馳走になり、新幹線で帰路に着いた。光亦母と角南母は戸田に応援に来ていたようだ。インカレが終わったばかりで戸田のOBが2人の応援に回っていた。

新潟国体の巻

国体強化合宿が山口で8月27日(木)より30日(日)まで行われた。国体まで1ヶ月追い込みの毎日が続く。関西だけで9月にも愛媛合宿を行っていた。

全日本選手権(戸田)が終わり、14日からOBの中には岡山へ帰省してくる子も何人かいたので、旭川を少し賑わせた。

そして、19・20日は大林コーチに百間川での指導を受け、新潟出発前の総仕上げをした。20日に覗きに行ってみたが、力強い漕ぎを見せてくれていた。シングル箕浦は榎原と並べ往復を繰り返す。久しぶりの箕浦の成長振りに、驚きながら納得した。

21日OB保護者が連絡を取り合って百間川に繰り出した。

9月23日6時過ぎの新幹線で岡山駅から出発して行った。大勢見送りに来てくれた人々の声援を受けながら、絶対に勝たなければならない新潟の地を目指した。沢山の差し入れと19H赤田妹の折り紙で作ったボートをお守りとして。

途中、待っていたのは18H上谷さん。一番美味しいと評判の牛タン店『太助』でタラフクご馳走になった。上谷さんには秋田国体の時にもご馳走になった。森川先生は「勝てば帰りにもきっと良い事があるかも!？」と子供たちの闘志をくすぐる。かも?勝てば絶対良い事が待っている、と経験者の19Hは思う。さあガンバレ!!

仙台で調達したレンタカーで東北道をひたすら走り続けSAでは、いつもの如く子供たちは名物を探し、腹を満たしていった。

4時半にやっと津川漕艇場にたどり着き、山に囲まれ何にもないコースを眺めた。宿泊地は咲花温泉。阿賀野川流域には温泉街が点在しており、その中の1つである。新潟駅から南の新津駅より川上の山に向かって磐越西線が会津若松まで走っている。観光用に1日何本かSLが走る。新潟駅から漕艇場最寄りの津川駅までは約1時間30分程度、新潟から佐取館のある咲花駅までは1時間10分。最終電車は早いので飲みを街中へ出かけるのは無理だろうし、1時間に1本も走っていない。自然の中で、旅館で飲むしかない。旅館と津川駅の間にある三川駅からのライン下りも行っており佐取館は舟から直接チェックインもできる。のんびり観光にはもってこいだろう。川では鮭の遡上が始まっていて、バシッとすくえばいくらでも取れそうなほど泳いでいた。近場の温泉は全て選手用に貸し切っている、応援団は一体何処に泊まるのだろうか?

9月26日(土)、応援団がバスを仕立てて新潟へと出発して行った。お父さん方が交代しながらの運転にいそむのを横目にお母さん方がバス旅行の如くお菓子を食べながら喋っているのは恒例のようだ。

1つ面白い偶然・縁起のいい話をしておこう。仙台で関西クルーが借りたマイクロバスは偶然にも2年前秋田国体で借りた物であった。それだけでも何だかいい予感がしてくる。更には、保護者が岡山で調達したマイクロバスのナンバープレートには全く同じ数字が書き込まれていた。違いは場所を表す漢字だけだった。仲良く駐車場で並ぶ姿を見て気付い

た人もいたのではないだろうか。

9月27日(日)、朝早く応援団は津川漕艇場に到着。ノボリを立てて準備万端で試合を待つ。ここは、秋田の大潟村と感じが似ているらしい。あちらはただっ広い平野の中にあっただが、山に囲まれているとは言え開けた場所で応援団が場所取りするには問題は無く、思う存分大声を張り上げられる環境であった。さあ、インハイで味わった雪辱を晴らしに行こう！『捲土重来』のTシャツを着た子供たちの背中は一回りまた、大きく輝いていた。

少年男子シングル 予選A組 8:46

2.神奈川県・・・3着 3'39"27

3.北海道・・・5着 3'58"49

4.長崎県・・・4着 3'46"75

5.岡山県・・・1着 3'34"81

(箕浦)

6.愛知県・・・2着 3'36"26

1位通過に歓声上がる。本日のトップタイムは青森むつ工業高校の石田君。お馴染みの名前。明日は鋭気を養って、準決勝に臨んで欲しい。

少年クォドルプル 予選D組 11:36

2.富山県・・・2着 3'08"07

3.滋賀県・・・3着 3'08"58

4.北海道・・・4着 3'14"05

5.岡山県・・・1着 3'00"98

(光亦・澤・浅野・角南・岡本)

6.佐賀県・・・5着 3'14"39

本日のブッチギリのトップタイムで通過。富山(インハイ準優勝大沢野工業高校の県)に7秒差をつけてのゴールはさぞ気持ち良かったことだろう。

千葉(インハイ優勝の小見川高校の県)は3'05"82で、やはりトップ通過している。

福井(インハイ3位の美方高校の県)も3'06"57でトップ通過とライバルも頑張っている。

12時より関西OB三村がダブルで品川白煉瓦として出場している。成年は1上がり。タイムは悪くないのだから、東京代表の明治安田生命と当り、2着に甘んじた。←結局ここが優勝したのよ。去年はアイリスオーヤマでしょっ！強豪ばかりと当る運命の様だ。

9月28日(月)、今日はOFF。敗復なしのお楽しみ観光へと繰り出す。新潟に来たのだから新潟の観光へ行くのかと思いきや、福島の子津若松や喜多方へラーメンを食べに行っ

いた。確かに〜〜、会津の方が近い。新潟の米や酒は(未成年は駄目よ!)旅館でも飲み食いはできる。佐渡は遠い、港まで出てフェリーに乗って島を巡っていたら 2 日はかかる。日帰りだとでーれーしんどい。子供たちに豪農の邸宅を見せても喜ばんやろし。海の幸はきっとお手ごろとは言えんじやろう。へぎ蕎麦よりラーメン!!この選択はぼっけえナイスかも。

保護者は・・・こちら朝から新潟満喫しているかと思いきや、敗復を闘う OB 広島選抜の善木(20H)と松本(14H)岡山選抜の三村(19H)の応援をしていた。もったいない・・・折角、新潟 1 日観光できるのに。でも、何となく嬉しい。おかげでどちらも復活し明日の準決勝で戦えることになった。実は広島選抜 JFE の松本君が OB である事を新潟に来るまで誰も知らなかった。卒業して 7 年も経てば接点も全く無くなる。早く言ってよ〜!試合が朝一と 2 時半だから午前午後と観光に出かけていた。観光といっても食べる事がメインで、名物と書かれた看板を見つただけでテンションは盛り上がり『わっぱめし』『喜多方ラーメン』に喰らいつき、会津若松を走り回っていた。夜ともなれば応援の疲れも何のその同じ旅館に全員宿泊という事もあって毎晩宴会で新潟のお酒と料理に舌鼓を打つ間もないほどに騒いだそうなの。

9 月 29 日(火)、今回、現役保護者の他に、初日に駆けつけたのは日大の若山・千葉。埼玉の大宮から新幹線で新潟まで 2 時間で着くので行こうと思えば行ける距離だ。2 日目には三村母が到着した。3 日目の今日は岡山から 19H 草地夫妻が車を飛ばして 8 時頃到着。17H の長谷川さんもお兄ちゃんの長谷川君もいつ頃からか来ている。娘の奈央ちゃんが少年女子クォードで出場しているのだ。依田さんもいつの間にか新潟に現れていた。岡山にいる保護者も全国に散らばっている OB も心は新潟にある。

少年男子クォドルブル 準決勝 A 組 8:30

2.和歌山県・・・4 着 3'19"85

3.富山県・・・3 着 3'16"41

4.岡山県・・・1 着 3'10"15

5.岐阜県・・・2 着 3'15"56

今日もブッチギリで 1 着。B 組の千葉県とはコンマ差であるが、トップタイムを記録した。この調子で明日も頑張るぞ。

少年男子シングル 準決勝 D 組 11:20

2.新潟県・・・4 着 3'59"06

3.佐賀県・・・1 着 3'45"41

4.岡山県・・・3 着 3'47"12

5.神奈川県・・・2 着 3'47"69

コンマ差で悔しい思いをした事だろう。良くここまで頑張った。国体シングルで

出場できるほど今まで頑張ってきた。彼が選ばれたと知った OB は一様に驚いたのだ。それほどこの一年進化し続けていた。先生も彼の成長振りを褒めていた。

三村のダブルも 3 着で終わってしまった。松本・善木は 4 着と OB は全て姿を消した。残るはクォードのみ、明日の必勝を祈願して一人一人が新潟へ波動を送り続けるだろう。

9 月 30 日(水)、今日が最後。全てが今日決まる。岡山にいる保護者は、関西の優勝を祈りながら仕事場へ、携帯を握り締めその時を待っている。また、職場のパソコンをコッソリ覗くチャンスを狙っている。自宅でパソコンの前に陣取っていた人もいただろう。其々が其々の方法で 12 時 20 分、いや、12 時 23 分過ぎの速報を待っていた。時間が近づくにつれ、落ち着きがなくなる。『いよいよスタートです』のメールが届くが携帯のボタンが上手く押せなくて、別の画面が出てくる。慌ててやり直す。指が震えているのだ。パソコンを開く事無く、携帯電話を握り締めお祈りをしていた……。

少年男子クォードルプル

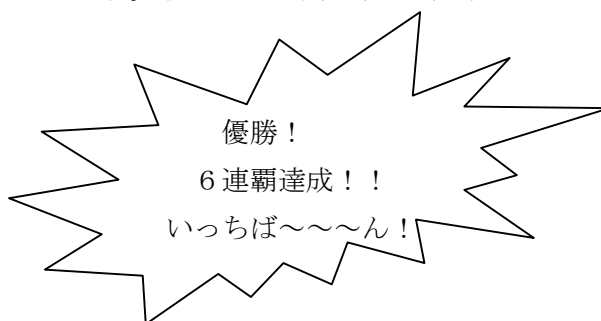
- | | |
|------------|--|
| 2.福井県 福井選抜 | インカレ 3 位の美方が乗っているはず。若狭・敦賀・小浜と強豪がひしめく県。 |
| 3.千葉県 千葉選抜 | インカレ優勝の小見川が乗っているはず。 |
| 4.岡山県 岡山選抜 | 捲土重来、逃げるな、心を 1 つに……獲る！ |
| 5.京都府 京都選抜 | よくぞここまで残ったもんだ。伏見とか瀬田工か？
富山は、大沢野は何処へ消えたのだろうか？…準決勝敗退していた。 |

スタート地点に向かう時、お決まりの校歌を唄い、笑みを浮かべてクルー(ガングリオンレンジャー)は出陣していった。12 時 20 分スタート、快調に飛び出して行った。500m トップで通過。既に一艇身近い差を開けていた。草地母が後に語っていた。

「差があったから、とっっても落ち着いて観れた。」

現役保護者は、だからと言って安心できないはず。喉から血が出そうな叫び声を上げて応援したに違いない。

- | | | | | | |
|-----|------|-----|---|-----|-----|
| 1 着 | 岡山選抜 | ・・・ | 3 | '03 | "40 |
| 2 着 | 千葉選抜 | ・・・ | 3 | '05 | "95 |
| 3 着 | 福井選抜 | ・・・ | 3 | '06 | "57 |
| 4 着 | 京都選抜 | ・・・ | 3 | '08 | "71 |



レース終盤から歓声が津波のように襲ってきた。高校ボートの花形クォードルプルで 6 連覇を狙うチームをオアーズマン全てが注目していた。各チームの応援団もこの瞬間を驚き

と羨望の眼差しで見っていたに違いない。先頭を切って現れた関西チームがそのままゴールに突っ込んだ。歓声があちこちで湧き上がった。前人未到と言われ早 3 年、頂点に上り続け留まり続けた。保護者は感激と感動の嵐の中、流れる涙を止めることは出来なかったようだ。

『月刊ローイング』によると、先生はスキップで選手を迎えたとあった。おっ茶目～！

関西の校歌が流れた。着信音だ。目に飛び込んできたのは草地母からの『勝った！』の文字。ドッヒャ————！！やりおった、やりおった！！返信もそこそこに叫ぶ。笑いが込み上げて止まらない。今度は嬉しさに震えている。落ち着こう、落ち着かなくては。……あっ、メールしなきゃ。息子に主人に優勝を伝える。『ヤッター！6 連覇』主人から返信『よしよし』今度は電話をかけてきた。

「ブッチギリって書いてあるが何秒差や？」

おおっ！しっかり掲示板見とったな、おりこうさんやな。しまった！パソコンを開かなくちゃ！また、メールすると言って切った。今度は上谷母から電話が、挨拶もせず、もしもしも、名乗る事もせず、いきなり

「おめでとうございます！！」

と、出てしまった。

「どうだった？勝った？工作中だから・・・」

「勝ちました。優勝しました。」

そして、またタイム差を聞かれた。私って馬鹿？？まだ、PC を開いていない。だから、答えられない。

「ブッチギリって掲示板に書いてあるので、余裕だったみたいです。」

としか言えなかった。その後、やっと PC を開き計算する。そして、おめでとう投稿をした。既に高橋父と高体連の廣江さんからおめでとう投稿がしてあった。早い！！流石！！

さて、大分に続き今回も表彰式は場所を移動するそうだ。今大会の表彰台に登るのは、キャプテン樫原。彼は補漕で参加していた。チームのまとめ役として引っ張りながらも、エースではないのだ。この一年の苦しみ・悲しみは本人でないと分からない。しかし、彼でないと駄目だったから、キャプテンになったのだ。そして、高校三年間の集大成として表彰台に登った。『日本一の主将』として。岡山県岡山選抜ではなく、岡山県関西高校として、全国のボート関係者の祝福を一身に集めた。

閉会式の総括では、一際胸に響く『6 連覇』の言葉が会場の拍手と共に襲い掛かる。先生・選手・保護者、皆が自分こそ日本一の幸せ者だとフツフツと実感しはじめた。

おめでとう！！おめでとう！！

そして、感動をありがとう！！ありがとう！！

感動と興奮がしばらく続いた。21H 榎原チームの一年が嵐のような興奮に包まれ終わった。

この夜だけは森川先生が1年で？回しかない羽目を外して飲み騒ぐ日。まして、咲花温泉・温泉以外何もない街では、スーパーで買って来た発泡酒を飲むだけという侘しい日々を送っていた。折角、日本有数の酒処新潟に居てこの慎ましい日々・涙なしには語れない。保護者は会津若松に宿を取っていて遠かったから一緒に飲む機会が無く、既に岡山に向けて只今爆走中。その鬱憤が爆発したかのようにゴイゴイと浴びるほどに飲んだ。頭が痛くなろうが飲み続け、気持ちは朝まで飲むぞ————！！

周りの人々も今宵ばかりは止められなかった。日本一の監督に心から喜びに浸って欲しい。国体勝利と一年間のお疲れ様・・・浸ったのは喜びじゃなくて、ほとんど美酒の方かも。頭の片隅には既に次が始まっていた。

10月1日(木)、一足先に保護者が早朝岡山に到着。行きはSAに寄り倒し、その土地の名物を食い漁って進んだが、帰りはSAにトイレと少しでも体を伸ばそうと寄り倒していた。それでも、岡山に着く頃には足がむくんでいたと言う。これを俗にエコノミー症候群という。まして、事故による高速の渋滞に巻き込まれ岡山を目の前にして2時間じっと我慢していた。膀胱炎の恐怖と戦いながら・・・

先生と子供たちは11時半頃、仙台から新幹線に乗る。安仁神社のお札と洗濯物だらけのローイングバックとお土産を入れた袋、胸の中には栄光を引っさげ、もう1つ仙台名物『牛タン弁当』が加わる。

東京駅で13時30分発ののぞみ33号に乗り換え、岡山駅に16時56分到着した。平日の5時前とあって、出迎えの人数は少なかったけれどもお祝いの気持ちを抱えたOB保護者を加えて横断幕をかかげホームで待っていた。

「はずかし～～～い！」

と声が聞こえそうに顔を隠して森川先生が下車し、続いて子供たちが降りてきた。拍手で「おめでとうございます！」

と叫ぶ保護者に皆照れていた。発車を待つ新幹線の中の乗客は窓から見てどう思っただろう。20Hが用意した花束が贈呈され、夕日のまぶしい中まずは先生の挨拶、キャプテン榎原、クルー長の光亦、保護者会長の榎原父がめてホームを降りた。

先生の話の中で印象に残ったのは、「終わりが始まり」よりも「運」についてだった。関西クルーには新潟で常に良運に恵まれていたと言う。ラーメン屋で駐車代がタダになったり、コインランドリーでは既にお金が入っていたり、小さな運が顔を出してぶつかっていた。

「勝つ時ってこんなもんですわ」

と、ちょっと疲れた感じで話していた。うんうん、運が良けりゃ笑顔も出るさ。笑顔が出れば福来たる。疲れは飲み疲れだろうか？次が始まった事のプレッシャーだろうか？改札を出たところで其々が帰宅の途についた。・・・かな？旭川と学校を走り回る先生が一人。

榎原チームの一年が終わった。グランドスラムとはいかなかったが、選抜・朝日・国体と誰が見ても恥ずかしくない戦績だ。おまけに光亦がフランスまで行っている。立派な一年である。保護者も日本一の息子を誇りに思っているだろう。

10月12・13日とOHKの『あっぱれ、ジュニア』で特集が組まれた。国体優勝を決めた日のニュースでは光亦のインタビューとレースの様様しか放映されなかったが、クォードクルー全員の喜びの声が一人ずつ紹介された。先生のインタビューが無かった。どうやら拒否っらしい。

「僕が出たら『アップレ！シニア』になるからね。」

そして、次の日から来年に向けてのステップに入る。毎年、太る子痩せる子色々あるが、ここが次の一年の成績を左右する大事な期間だ。決して、楽をしてトレーニングを怠らないで欲しい。今迄は森川先生のご指導に従っていけば良かったが、これからはそうは行かない。自分で考えて行動していかなければ大学で、企業でしっぺ返しを喰らう。光亦は全日本新人戦とアジア Jr.があるので厳しい練習が続く。それに負けじと他の部員も頑張っていて欲しい。伴チャリだけで1日を終われないことだ。

旭川には嵐の後の寂しさを感じさせる秋がやって来た。夢のように感動が溢れ出した新潟が、ついさっきのようにもずっと前のようにも感じられてならない。毎年、3年保護者がフラッと練習を見に訪れる。応援に走り回っていた頃がウソのように感じる。そう！寂しくなるのだ。旭川で息子達を熱く見守るのも後僅かになってくる。旅立ちは迫ってきている。夕日が紅く空を染めたかと思うと、あっという間に闇が襲い子供たちの自転車と艇がライトを点け始める。静かな、静かな水面に季節外れのホテルが舞っているようだ。

完

【あとがき】

今年も関西高校にとって素晴らしい1年となりました。その陰には、先生は勿論のことご両親の必死なサポートがあったはずです。食べても食べても体重が増えずに悩んだ母もあったでしょう。食べる事にストレスを感じ言い合いになったり、疲れきって帰宅し食事を摂らずに寝てしまう子供を見て悩んだ母もいたでしょう。反対に体重制限があり食べ盛りの子供の食事に気を使う母もいたでしょう。又、仕事との折り合いを苦勞して応援参加しようが無理をしたお父さん方、頑張っって休んだ割に運転を任せられ疲れるための休暇でしかなかった気がしないでもなかったでしょう。其々の思いが集まって国体6連覇を成し遂げたのだと思います。朝早くからのお弁当作りと声を裏返しながらのデカメガフォンお疲れ様でした。暫くゆっくりと休んで下さい。今度は瀬田で、戸田でライバルとして一緒に応援しましょう！

浅野チームは重い重いバトンを受け取りました。しかし、自分達の漕ぎに専念して乗り越えて行って下さい。これからも近くで、遠くで応援し続けていきます。

フレー！フレー！ カ・ン・ゼ・イ！！

フレッ！フレッ！KANZEI！！

フレッ！フレッ！KANZEI！！

追記；11月4～8日台湾の宜蘭にて行われたアジア Jr. アジア選手権大会
男子ダブルで小浜水産高校の長田君と組んだ光亦が銀メダルを受賞
OB・日大の三村が、なしフォアで金メダルとエイトで銅メダルを受賞
同じく OB・NTT 東日本の大村君がエイトで銅メダル受賞